

# 環境経営レポート

## 2025年版

〈2024年3月1日～2025年2月28日〉



### 来ハトメ工業株式会社







1. はじめに	2
2. 会社概要及び環境報告の基礎情報	3
1) 登録事業者の概要	
2) 沿革（日本の戦後と共に歩んだ当社79年の軌跡）	
3) 当社従業員紹介	
3.  経営責任者のコミットメント	13
1)  環境経営方針	
2)  品質方針	
3)  2024年度の変更点	
4.  実施体制及びガバナンス	15
1)  EA21環境経営組織図	
2)  役割責任及び権限	
3)  2024年度の変更点	
4)  ガバナンス(課題とチャンス、マテリアリティ分析)	
5.  PDCAで見る環境関連法規遵守の取組	17
1)  法規制遵守関連の環境経営計画と関連SDGs	
2)   法規制遵守状況のチェック結果	
3)  違反・訴訟の有無	
4)  法規制の遵守状況の評価と次年度以降の取組内容	
5)  法規制遵守の取組に関する代表者の評価・指示	
6.  PDCAで見る緊急事態の想定とその対応策	23
1)  想定される緊急事態	
2)  環境経営計画とSDGs	
3)  緊急事態の対応及び訓練状況	
4)  緊急事態の想定・訓練の評価と次年度以降の取組内容	
5)  緊急事態の想定・訓練に関する代表者の評価・指示	
7. 数字で見る2024年度環境負荷の全体像	25
1)  過去5年間の環境負荷の実績	
2)  2024年度の実績と目標達成状況	
3)  2024年度マテリアルバランス	
8.  PDCAで見る2024年度環境活動	27
9.  代表者レビュー	47
1)  全体的な感想	
2)  指示	

## 来ハトメ環境トピックス2024 目次

① 年に一度の「恐怖の時間」到来……～2024年度「私のSDGs」ふり返り(個人の取組)編～	22
② 審査員の縁が切り拓いた未知の領域～はじめてのScope3算定物語～	31,32
③ ドキドキ!知事訪問～「知事のふれあい訪問」体験記～	38
番外編 出前授業と講演～環境ファンをふやすための「草の根活動」～	44

## アイコンの見方について

エコアクション21ガイドライン(2017年版)要求事項の適合性を明確にするために、主にタイトルの前等に4つのアイコン(Plan(計画)、Do(実施)、Check(確認)、Act(見直し))を付けています。4つのアイコンは、それぞれ、以下の様な取組であることを示すものです。

-  : EA21ガイドライン要求事項1～6(計画の策定(Plan))に該当する取組であることを示します。
-  : EA21ガイドライン要求事項7～12(計画の実施(Do))に該当する取組であることを示します。
-  : EA21ガイドライン要求事項13(取組状況の把握及び評価(Check))に該当する取組であることを示します。
-  : EA21ガイドライン要求事項14(全体の評価と見直し(Act))に該当する取組であることを示します。

## eco検定のススメ

当社の環境活動における私の役割の一つに、eco検定(環境社会検定試験、東京商工会議所主催)の啓蒙活動がある。

積極的な環境活動を行っている故、当社の社員は当然環境への意識が高い。更に、eco検定へのチャレンジ、そして、合格することで、個々人の環境意識に箔が付く、と考えている。

通称「eco検定講座」を開始したのは11年前。当初は、私自身が受験勉強中だったこともあり、社員への教育+自身の勉強と一挙両得で有難かった。

eco検定講座の概要は、毎週開催される社内のQC会議時に月1回5分程度、環境に関する教育をすること。最初の頃はeco検定の過去問からの出題、そして解説を行うことが多かった。過去問からの出題が一巡した最近では、最新の環境トピックスを紹介することが多い。

過去問にしても環境トピックスにしても注意していることは、極力難しい内容は避け、我々の生活に身近な話題を取り上げること。なので、過去問を楽しんで解いてくれたり、環境トピックスに興味をもって聞いてくれたりする社員が多い。

これまで、eco検定講座で取り上げた環境トピックスをいくつか取り上げたい。

- eco検定講座第37回 珊瑚礁の白化現象(2017年4月実施)
- eco検定講座第52回 熊谷41.1℃～埼玉県の平野部が暑くなる理由～(2018年7月実施)
- eco検定講座第70回 テレワーク(2020年1月実施)
- eco検定講座第106回 てまえどり(2023年1月実施)
- eco検定講座第122回 レジ袋有料化、その後(2024年5月実施)

実際のeco検定では、時事問題も出題されるようなので、これまでのeco検定講座が、今後受験する社員の一助となれば、と考えている。

私がeco検定を受験・合格したのは2014年7月。当時と比べて、試験方法も若干変わっているようだし、もちろん出題内容にも変化があると思う。

それでも私は、最新の身近な環境トピックスをアップデートし続け、社員の更なる環境意識を湧き立て、eco検定をチャレンジしたい社員を増やしていきたい。

来ハトメ工業株式会社  
代表取締役(EA21代表者) 来 博行

## 2.会社概要及び環境報告の基礎情報

### 1) 登録事業者の概要

#### (1) 事業者及び代表者名(報告対象組織)

事業者名 : 来ハトメ工業株式会社

代表者名 : 代表取締役 来 博行

#### (2) 所在地(本社・工場共に下記住所)

〒 340-0822

埼玉県八潮市大瀬203-1

URL <http://www.rai-hatome.co.jp>

(1)及び(2)の全組織・全活動をエコアクション21への取組の対象範囲とする

#### (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者名 : 環境管理責任者 石原 隆雅

連絡先 : TEL 048(995)5138 FAX 048(996)0580

e-mail [yashio@rai-hatome.co.jp](mailto:yashio@rai-hatome.co.jp)

#### (4) 事業内容

アルミ製コンデンサ部品及びその他の部品類の製造・販売

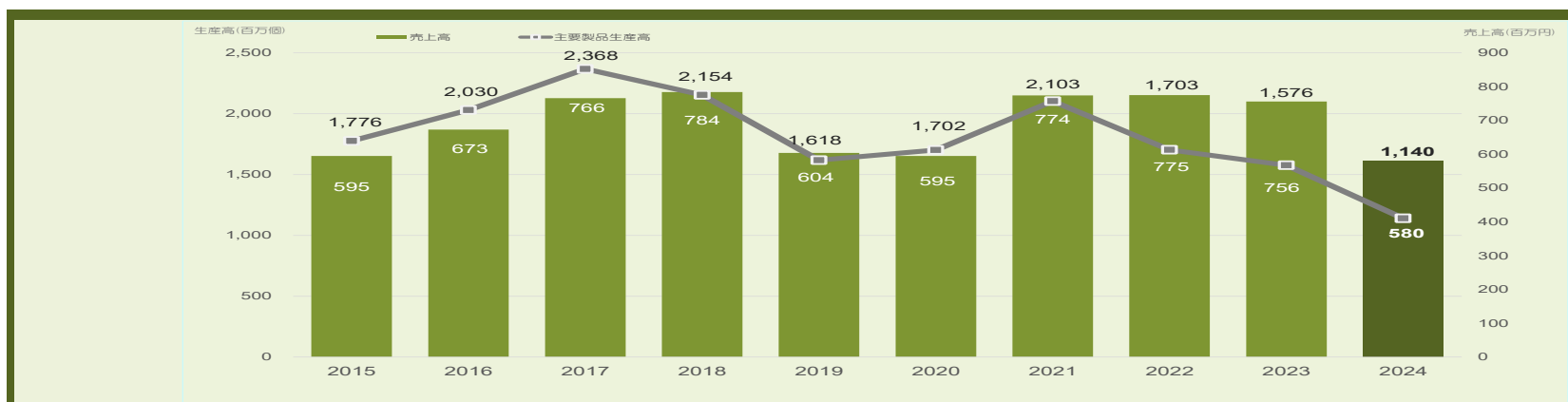
#### (5) 創業年月日

1946(昭和21)年3月6日

#### (6) 資本金

3,000万円

#### (7) 事業規模



項目	年 度										単位
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
主要製品生産高	1,776	2,030	2,368	2,154	1,618	1,702	2,103	1,703	1,576	1,140	百万個
売上高	595	673	766	784	604	595	774	775	756	580	百万円
従業員数	37	36	37	35	33	33	36	35	33	34	人
事業所延床面積	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	m <sup>2</sup>
事業所敷地面積	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	m <sup>2</sup>

#### 2024年度決算短観及び今後の展望

主要取引先及び主力製品に偏りがある当社にとって、お取引の売上減少は、当社の受注及び生産減少に繋がってまいります。

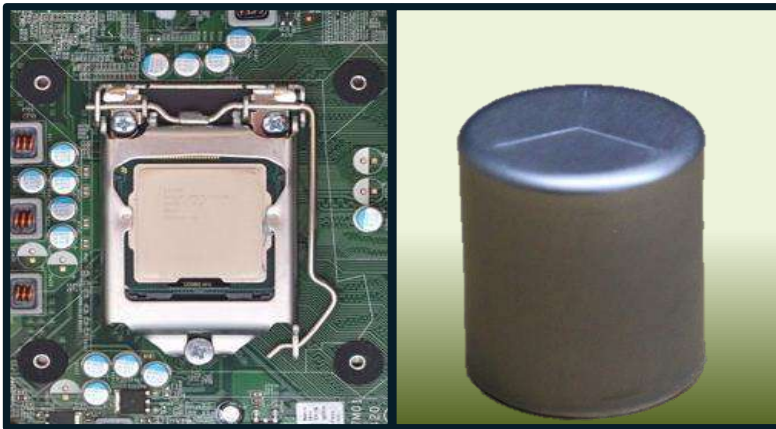
2024年度決算は、まさにそのような厳しい状況で、生産高前年比27.7%減、売上高も同23.3%減という結果に終わりました。

市場全体として、車載向け需要の低迷、そして、海外経済の不透明感が根底にある様です。

引続き今後も厳しい業況が予想されますが、既存の取引先には当社にしかできない強みをいかに発揮すると共に新規御取引先との交渉も積極的に行っていきたいと思っております。

## (8) 当社主力製品並びに主要取引先

### ● アルミ電解コンデンサ用アルミケース(売上構成比99%)



我々の豊かな暮らしを支える家電製品や自動車。これらの心臓部とも言うべき基盤部分で、実は当社の製品が活躍していることを、皆様は御存じでしょうか？

電子基板のあちこちで、独特の存在感を放つアルミ電解コンデンサの骨格部分とも言うべきアルミケースこそ、当社の主力製品！なのです。

主要御取引先： 日本ケミコン株式会社様  
ルビコン株式会社様 他

### ● 建築金物(写真左)、香水プッシュボタン・ネジ(写真右)(売上構成比 1%)

当社が得意とする「アルミ深絞り加工」は、アルミ材料を円筒形に加工する技術。

このアルミ深絞り加工の応用によって誕生したのが、これらの製品群。

主要御取引先： カネダ株式会社(建築金物)  
(有)都プレス工業所(香水)

上記御取引様を通じ、それぞれ、大手メーカー様へ納入しています。



## (9) 当レポートの報告対象期間

2024(令和6)年3月1日～2025(令和7)年2月28日

## (10) 当レポートの基準・ガイドライン等

- エコアクション21ガイドライン2017年版(環境省) 及び
- 環境報告ガイドライン2018年版(環境省)

## (11) 当社環境報告の全体像(3つの社内媒体と充実の外部媒体)

### ■ 社内媒体

#### ● 紙媒体



#### ● 当社Webサイト

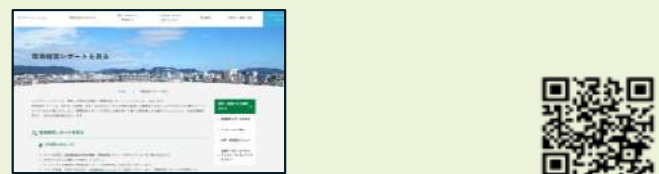


#### ● Youtubeチャンネル



### ■ 外部媒体

#### ● エコアクション21中央事務局HP



#### CSR図書館.net



各媒体右端のQRコードより各媒体の当社環境情報をご覧頂けます。是非ご利用ください。

## 2.会社概要及び環境報告の基礎情報

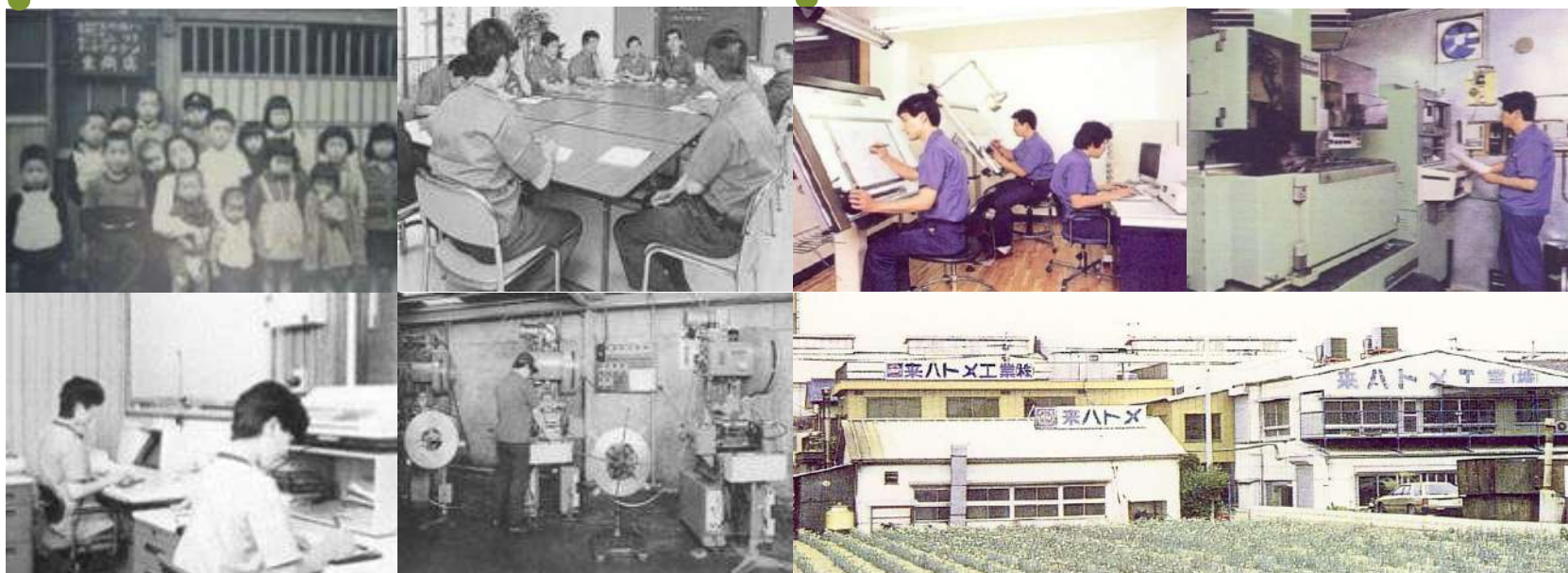
### 2) 沿革(日本の戦後と共に歩んだ当社の79年の軌跡)

1946  
~  
1969

- 東京都荒川区三河島にて「來商店」創業(1946.3)
- 「有限会社來商店」と改組(1952.7)
- 東京都足立区柳原に協力工場設置(1952.8)
- 東京都葛飾区奥戸本町に協力工場設置(1953.10)  
当時の従業員数：4名
- 東京都台東区入谷に移転(1956.6)  
当時の主力製品：時計バンド、磁器バンド
- 「有限会社來ハトム店」と改称(1962.12)  
このころ、プラグ業界へ進出する
- 電解コンデンサ用アルミケース生産が始まる(1963.10)  
(当時は外注)
- 東京都葛飾区新宿町に「金町工場」設立(1966.3)

1990  
~  
1999

- 本社機能を全て八潮工場へ移管(1990.3)
- 増資。資本金3,500万円に(1996.3)
- 鉄、真鍮から撤退、アルミ材料専門メーカーに(1998.10)



- 東京都台東区入谷1-33-5に本社移転(1971.4)
- 「來ハトム工業株式会社」と改組(1974.4)
- 資本金2,500万円に増資(1975.3)

- 炭化水素洗浄設備を導入(業)
- ISO9001:2000認証取得(2005.)
- 年間売上高10億円を達成2007

1970  
~  
1989

2000  
~  
2009

## 2010 ~ 2014

- エコアクション21認証取得(2010.6)
- 第15回環境コミュニケーション大賞 奨励賞受賞(2012.2)
- 第16回環境コミュニケーション大賞 環境大臣賞受賞(2013.2)
- 書籍掲載(『平成25年版環境白書』(環境省))(2013.6)
- 書籍掲載(『日経エコロジー11月号』(日経BP社))(2013.7)
- 第18回環境コミュニケーション大賞 優良賞受賞(2015.2)
- 第17回彩の国埼玉環境大賞 優秀賞受賞(2015.3)
- テレビ取材(『埼玉ビジネスウォッチ』(テレビ埼玉))(2015.7)
- 環境 人づくり企業大賞2014 環境大臣賞受賞(2015.8)
- 書籍掲載(『中小企業が環境をダシに儲ける本』(日経BP社))(2015.12)

## 2020 ~ 2023

- 書籍掲載(『環境経営者2020年2月号』(株式会社TKC))(2020.2)
- 環境コミュニケーション大賞環境レポート部門殿堂入り(2020.2)
- 第24回環境コミュニケーション大賞 優秀賞受賞(2021.2)
- 中小企業の中長期の削減目標に向けた取り組み可能な対策行動の可視化モデル事業(環境省)参加(2021.10)
- エコアクション21オブザイヤー2021ソーシャル部門 銅賞受賞(2021.2)
- 脱炭素チャレンジカップ2023 環境大臣賞グランプリ受賞(2023.2)
- ラジオ取材(『オーステッド presents Green future for all』(Tokyofm))(2023.3)
- 書籍掲載(『TDB REPORT』(帝国データバンク))(2023.6)



界初)(2004.1)  
7)  
.3)

- 第19回環境コミュニケーション大賞 優秀賞受賞(2016.2)
- 環境 人づくり企業大賞2015 優秀賞受賞(2016.5)
- 第20回環境コミュニケーション大賞 環境大臣賞受賞(2016.2)
- 国連持続可能な開発目標(SDGs)ケーススタディ(環境省)参加(2016.3)
- 第21回環境コミュニケーション大賞 優秀賞受賞(2018.2)
- 書籍掲載(『隔月刊 地球温暖化』(日報ビジネス社))(2019.1)
- 第22回環境コミュニケーション大賞 環境大臣賞受賞(2019.2)

## 2015 ~ 2019

## 2.会社概要及び環境報告の基礎情報

### 4) 当社従業員紹介

#### (1) 弊社を支える「名プレス工達」～プレスオペレーター～



	① 19年目	② 主任	
加藤 直	③	廃棄物(廃アルミ)、環境ボランティア	
		フードロス無くす。	
	④	マイバック、バスケットを持参する。	
		節水、節電を心掛ける。	
	① 19年目	② —	
加茂 隆弘	③	廃棄物(事業系一般廃棄物)、緊急事態(油漏出訓練)	
		フードロスしない。	
	④	健康でいる。	
	① 19年目	② —	
田辺 栄一	③	CO <sub>2</sub> (電力)	
		近場は徒歩、自転車を使用する。	
	④	食べ残しは絶対にしない。	
		ムダな買い物はしない。	
	① 8年目	② —	
グエン ヴァン トゥアン	③	CO <sub>2</sub> (LPG)	
		近いスーパーへは自転車で行く。	
	① 4年目	② —	
ホアン バン ズン	③	法規制(騒音測定)	
		電気を節約する。	
	④	貧困をなくしたい。	
表の見方 	① 勤続年数	② 社内役職	
氏名	③	エコアクション21担当項目	
	④	主な私のSDGs(SDGsに関する個人目標※) 期間:2024年3月～2025年2月	主なSDGsアイコン
		※ 目標がアイコン4個以上の場合は代表的なもののみの記載となります。	

## (2) 金型製造、修理のスペシャリスト達～金型製造・修理～

 来 昌伸	① 49年目      ② 取締役会長 ③ EA21代表者、地域貢献(環境ボランティア) コンビニ募金の継続。 お客様との話し合いによる不良の低減。 CO <sub>2</sub> 対策強化の実現。 
 有山 浩一郎	① 41年目      ② 取締役工場長 ③ 緊急事態(洪水) 町会のゴミ0運動に参加する。 
 来 尊重	① 16年目      ② 常務取締役 ③ EA21製造部門責任者、CO <sub>2</sub> (ガソリン)、化学物質(潤滑油) 被災者のために募金などできることを行う。 所有物を減らし、モノを大切に使う。 ④ マネーリテラシーの強化。 元美容師の経験を活かし、魅力を引き出すお手伝いをする。 
 井出 学	① 28年目      ② 製造課長 兼 副工場長 ③ 廃棄物(不良品発生削減、材料歩留まり向上)、廃ウエス 出来る限り環境にやさしい(エコな)ものを使う。 エコドライブをする。 ④ ごみの分別をする 
 山崎 洋幸	① 27年目      ② 係長 兼 安全衛生推進者 ③ 法規制(労働安全衛生) バルコニーに人工芝を敷き夏場のエアコン使用量を減らす。 CO <sub>2</sub> 削減のため自転車通勤をする。 ④ 箱なしティッシュペーパーを使う。 
 宮本 哲次	① 19年目      ② 主任 ③ 水、有害化学物質(啓発教育)、環境ボランティア 地域で生産されている野菜を購入する。 地球環境を扱ったTV番組を見て学ぶ。 

## 2.会社概要及び環境報告の基礎情報

### (3) 「脱脂洗浄」以上の価値の追求 ～洗浄工程～

 来 淳一郎	①	28年目	②	専務取締役				
	③	化学物質(炭化水素)						
	④	水の無駄遣いをなくす。						
		車のエコ運転を心掛ける。						
			連絡を取り合い、無駄な洗浄をしない。					
 ガルラン ショウジ	①	4年目	②	—				
	③	CO <sub>2</sub> (電力)						
	④	仲間を助けるためにも、自分の仕事を極める。						
		もっと会社の役に立ちたい。						
			帰省するためにもっとお金を稼ぎたい。					

### (4) 営業、検査から雑用までもこなす「何でも屋」～2F管理部門～

 来 満	①	55年目	②	相談役				
	③	継続的改善						
	④	朝、会社の前のゴミ拾いを継続実施。						
		食事のカロリー制限と運動の継続実施。						
			土、日に1時間程度、やや速足で歩く。					
			昼の弁当、食べない分は他の人にあげる。					
 来 博行	①	13年目	②	代表取締役				
	③	eco検定講座、ペットボトルキャップ収集他						
	④	当社業績向上に努力する。						
		今考えている当社の課題を実行に移す。						
			1日に1回は全社員と話し雰囲気良化に努める。					
			引続きマイカーの燃費検証に努める。					
 佐々木 勝	①	32年目	②	管理課長				
	③	EA21管理部門責任者、緊急事態(避難訓練)他						
	④	節約のためにシャワーヘッドを変える。						
		ガス節約のためシャワーヘッドを変える。						
			昨年度の個人目標を継続する					
 石原 隆雅	①	20年目	②	課長 兼 ISO9001管理責任者				
	③	EA21環境管理責任者、法規制、生物多様性他						
	④	仕事と審査の両立。						
		1日10,000歩+ムーブゴール毎日達成。						
			皿洗い+土曜日の夕食づくり。					
			縁ある事業者様を受賞に導く。					

 グエン ミン キエン	①	4年目	②	—					
	③	法規制(業務用エアコン簡易点検)							
	④	ごみを分別する。							
		運動(サッカー)をする。							
	タバコの量に注意する。								
 ホアン バン フク	①	3年目	②	—					
	③	廃棄物(紙くず)							
	④	料理や洗濯物のサポート、育児の協力。							
		電気と水道の節約を心掛ける							
 大澤 英慈	①	1年目	②	—					
	③	CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)							
	④	2025年4月入社。今年からSDGsへの取組頑張ります。							
 福田 則子	①	33年目	②	—					
	③	CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)							
	④	ガス、水道、電気の節約をする。							
		食品ロスをしないような買い物をする。							
	時間が出来たらウォーキングをする。								
 岡本 恵子	①	26年目	②	—					
	③	CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)							
	④	形が悪いものや賞味期限が近いものを買う。							
		お風呂の水の有効活用。掃除・水遣りなど。							
	ペットボトルキャップの収集。								
	男性社員と協力して職場環境改善を図る。								
 山田 亜由美	①	26年目	②	—					
	③	CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)							
	④	災害に対する備えをする。							
		必要以上のものは買わない。							
	冷暖房の温度調節の見直し。								

## 2.会社概要及び環境報告の基礎情報

### 2F管理部門従業員

 安田 ジョセフィーナ	①	26年目	②	—					
	③	CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)							
	④	電気の節約に心掛ける							
		家庭での節水に心掛ける							
 三輪 千鶴	①	23年目	②	—					
	③	CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)							
	④	必要なものをなるべく買う、使う。							
		紙類・プラスチック製のものはなるべく使わないようにする。							
 稲葉 エリザベス	①	22年目	②	—					
	③	CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)							
	④	買い物するときはなるべくエコバックを使う。							
		水、電気の節約・節水をする。							
 山本 マリア	①	21年目	②	—					
	③	CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)							
	④	健康のために自転車通勤をする。							
		電気をこまめに消す。							
 大小堀 レオニラ	①	21年目	②	—					
	③	備品コスト意識改善他							
	④	節約のために見切り品を買う。							
 大西 百合子	①	19年目	②	—					
	③	CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)							
	④	男性社員と協力して仕事の改善を図る。							
		犬の散歩。健康づくりを兼ねて積極的に行う。							
 田中 ジェバチキ	①	19年目	②	—					
	③	CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)							
	④	お金の無駄遣いをしない。							
		着なくなった服はリサイクルショップへ。							

	① 18年目    ② —	③ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別) 仕事を頑張る。 ④ 買い物をする際になるべく安い商品を買う。	
	① 16年目    ② —	③ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別) 今まで以上に節水を心掛ける。 ④ 健康のためにウォーキングを続ける。 エコ運転でCO <sub>2</sub> 削減とガソリン代の節約に努める。	
	① 8年目    ② —	③ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別) ④ 地産地消を心掛ける	
	① 8年目    ② —	③ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別) ④	
	① 4年目    ② —	③ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別) エコバック、マイボトルを使う。 募金をする。 ④ 海のエコラベルが付いている製品を選ぶ。	
表の見方  顔写真 氏名	① 勤続年数    ② 社内役職	③ エコアクション21担当項目 ④ 主な私のSDGs(SDGsに関する個人目標※) 期間:2024年3月~2025年2月 ※ 目標がアイコン4個以上の場合は代表的なもののみ記載となります。	主なSDGsアイコン

### 3.経営責任者のコミットメント



#### 「経営責任者のコミットメント」とは

経営責任者(代表者)のコミットメント(誓約、固い約束)、すなわち、経営責任者が自らの言葉で、全ての利害関係者の皆様と交わす固い約束といった意味になります。

このことから分かるようにこの「経営責任者のコミットメント」は、企業の活動の方向性を決定する、大変重要な事項であるともいえます。



#### 1) 環境経営方針

当社の社業である金属製品製造には、多量の天然資源やエネルギーの使用が不可欠です。そのため、事業を永続的なものとするためには、これらの持続可能な利用に資するための活動、すなわち、環境保全活動への積極的な取組が大きな鍵を握るものと考えます。

当社は、従業員の自主性に基づく環境保全活動を通じ、環境負荷の低減と御得意先様の満足、更には従業員の成長を実現させつつ、社業を持続可能なものとするを経営の重要課題の一つとしてとらえ、次の行動指針を定めます。

- 1 事業活動に伴う環境負荷を低減し、環境への影響を最小限にとどめるために、次の取組を行います。
  - ① 二酸化炭素排出量の削減 

2030年度に2013年度比95%削減
2035年度カーボンニュートラル
  - ② 分別排出、使い切り等による廃棄物排出量の削減
  - ③ 水使用量の削減並びに雨水の有効活用
  - ④ 不良品の発生削減による材料歩留まりの向上
  - ⑤ グリーン調達推進
  - ⑥ 有害化学物質の取扱い禁止並びに化学物質使用量の削減及び適正管理
- 2 エコアクション21の取り組みにより環境への取り組みの継続的な改善を図り、活動の質の維持・向上に努めます。
- 3 事業活動に適用される環境法規制を遵守します。
- 4 環境教育・訓練の実施により、全ての社員に環境経営方針を周知徹底すると同時に、環境保全に関する知識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。
- 5 生物多様性に関する従業員教育を実施するとともに、その保全と持続可能な利用のための取組を推進します。
- 6 ボランティア活動等を通じて、地域貢献に取り組みます。
- 7 5Sを徹底し、社内美化及びカイゼン活動に取り組むと同時に、事業活動内に潜む様々なリスクやムダの「見える化」とその排除に努めます。
- 8 全従業員に対し、SDGs(持続可能な開発目標)の周知及び普及に努めると同時に、継続的にSDGsが掲げる目標実現のための活動に取り組みます。
- 9 環境経営方針等、必要な情報を開示します。

2025年1月1日改訂

来ハトメ工業株式会社

代表取締役(EA21代表者)

来 博行

この「経営責任者のコミットメント」、エコアクション21ガイドラインにおいても、「環境経営方針」として、しっかり要求事項に含まれています。「環境経営方針」とは、代表者が自らの言葉で定めて誓約するもの。用語の違いこそあれど「経営責任者のコミットメント」が意味するものと全く同じです。

ここでは、「環境経営方針」と同様に、代表者の誓約にあたる「品質方針」も併せて掲載します。



## 2) 品質方針

御得意先様の満足をもって、我社の満足とする。

御得意先様の満足水準の高度化に対しても常に応えられる様、品質マネジメントシステムを確立し、そのレベルの維持向上に対する努力を継続的に続ける。

2025年1月1日

来ハトム工業株式会社

来 博行 



## 3) 2024年度の変更点

- 環境経営方針

代表者名変更(来 昌伸 → 来 博行)。

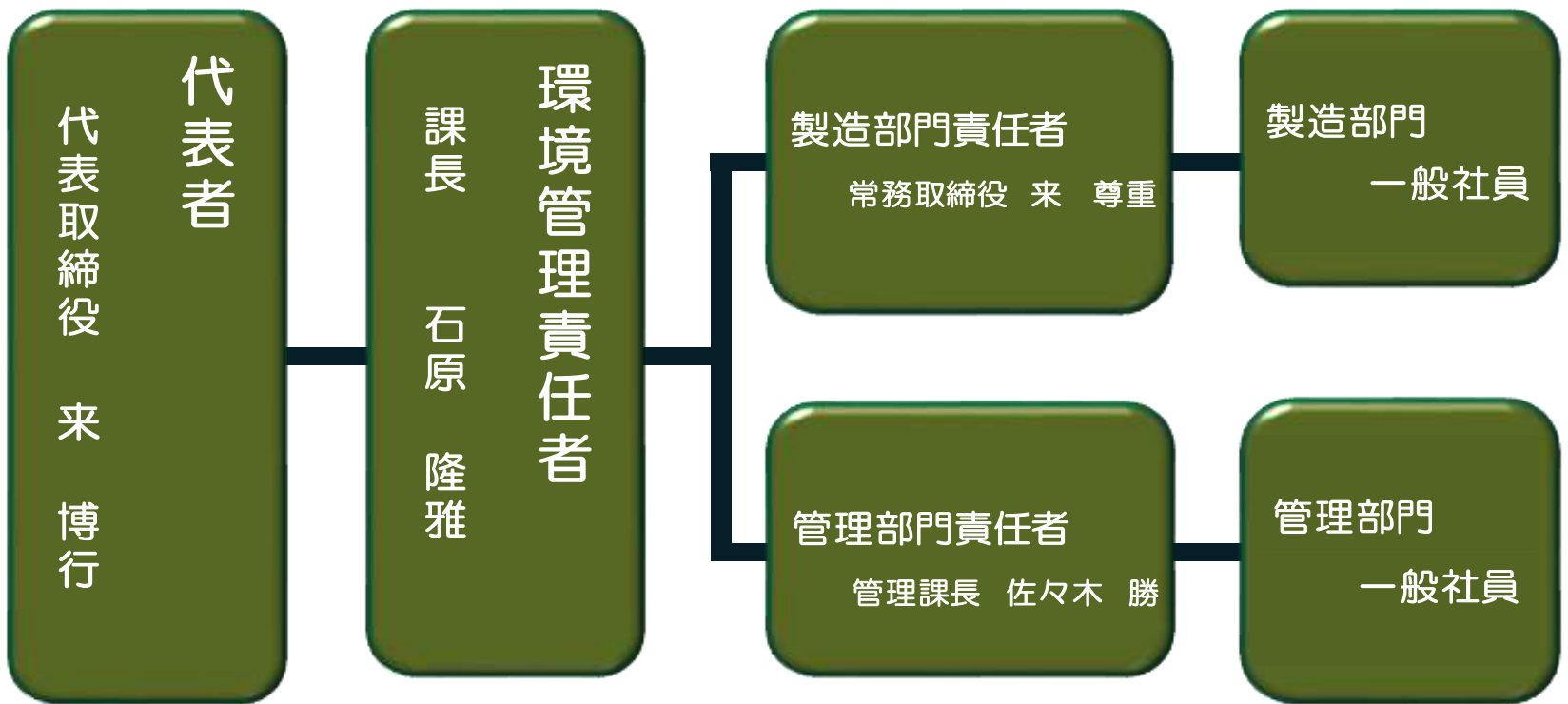
- 品質方針

代表者名変更(来 昌伸 → 来 博行)。

## 4.実施体制及びガバナンス

Do  
実施

### 1) EA21環境経営組織図



Do  
実施

### 2) 役割責任及び権限

役割(職位)	責任 及び 権限
代表者	1 . 環境経営方針の制定、誓約及び従業員への周知 2 . 環境管理責任者の任命 3 . 環境経営資源の確保 4 . 是正・予防処置発生時のフォロー、並びに指示 5 . 全体の取組状況の評価と見直し、並びに指示
環境管理責任者	1 . エコアクション21活動全般の施策・運用 2 . エコアクション21の実施記録を経営者に報告 3 . 各種環境関連文書の記録の管理 4 . 環境関連法規の遵守に関する教育 5 . 環境経営レポートの作成、公表
製造(管理)部門責任者	1 . 環境経営目標に即した自部門の環境経営計画の策定・実施 2 . 自部門の環境経営計画の実施状況を環境管理責任者に報告 3 . 自部門の一般社員に対する環境教育の実施
(各部門)一般社員	1 . 各担当項目の施策策定及び施策の実施 2 . 各担当項目の実施状況を環境管理責任者に報告 3 . 担当項目以外の環境保全活動への協力 4 . 環境関連法規に関する知識習得及びその遵守 5 . 活動を通じての部門責任者、環境管理責任者への提案 6 . 各家庭における環境教育の実施

Do  
実施

### 3) 2024年度の変更点

2024年度は、以下の変更を実施しました。

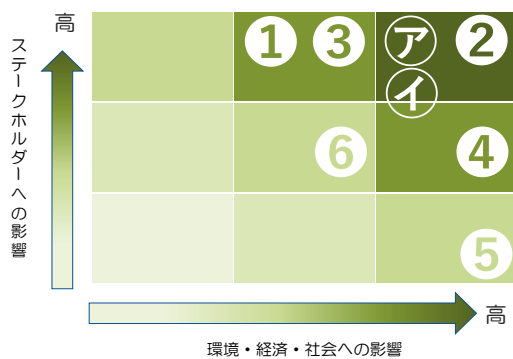
- 代表者名変更(2025年1月1日・来 昌伸→来 博行)

Do 実施 4) ガバナンス(課題とチャンス、マテリアリティ分析)

① 2024年に抽出された課題とチャンス

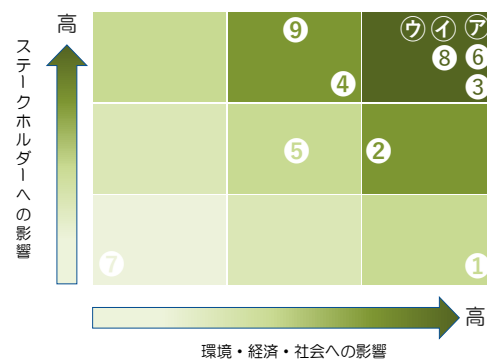
	機会(チャンス)	課題(リスク)
内部	① 5S推進 ② 脱炭素化の進捗 ③ デジタル化推進 ④ 人材育成 ⑤ 営業強化 ⑥ 環境分野での知名度	① 得意先が少ない ② 5S不十分 ③ 騒音を発生させる ④ コスト意識の薄れ ⑤ 生産能力の限界 ⑥ 火災 ⑦ 設備老朽化 ⑧ コンプライアンス意識の薄れ ⑨ 品質クレーム発生
外部	ア SDGs ① サークュラーエコノミー、ネイチャーポジティブへの取組	ア 自然災害の脅威 ① 豪雨災害の激甚化 ウ 地球温暖化

② ①を踏まえたマテリアリティ分析結果



チャンス

NO.	環境経営方針
①	7,8
②	1,2,4,7,8
③	4,8
④	8
⑤	2,8,9
⑥	-
⑦	8
⑧	1,2,4,5,8



課題

NO.	環境経営方針
①	-
②	7,8
③	3,8
④	1-2,③,④,2,7,8
⑤	2,7
⑥	4,8
⑦	-
⑧	3,5,8
⑨	4,7
⑩	4,8
⑪	1-①,4,8
⑫	1-2,③,④,4

機会(チャンス)のマテリアル分析

課題(リスク)のマテリアル分析

コーポレートガバナンスへ当社の対応

コーポレートガバナンスとは

「コーポレートガバナンス」。これを日本語に訳すと「企業の統治」。つまり、企業に所属する者自身が、間違いが起こることを防止するためのルールを作り、それを実行することで自らを監視するための取組のことをいいます。

当社の対応

当社のコーポレートガバナンスについて、2022年度までは実際に経営判断を行う経営者の死角を従

業員がいかにか補うか、という観点で毎年一回「課題とチャンス従業員アンケート」実施し、それを踏まえ経営者が最終的に対応すべき課題、チャンスを決定的という形をとっていましたが、昨年度より従業員アンケートの段階を踏まず、社長が課題とチャンス抽出し、これを基にマテリアリティ分析を実施し課題とチャンスを決しました。

「代表者による経営における課題とチャンス明確化」この言葉通り、より社長の想いが詰まったものになったのでは？そう思います。

## 5.PDCAで見る環境関連法規遵守の取組

### 1) 法規制遵守関連の環境経営計画と関連SDGs

取組内容	SDGs	実施責任者
事業活動内に該当する法令の改正状況を年1回調査し、改正あるものについては、法令ファイルの入替を行う。		石原 隆雅
工場稼働時の敷地境界における騒音の状況を確認し、記録する。	 	ホアン バン ズン
第一種特定製品(業務用エアコン等)の簡易点検を行う。	 	グエン ミン キエン
環境関連法規のための教育又は教育効果確認のためのテストとそのフォローを行う。	 	石原 隆雅
職場の危険箇所、機械類取扱い時注意点等に関するアンケートを実施し、改善案を提示する(改善案の実施は5Sにて行う)。	   	山崎 洋幸
労働安全衛生に関する教育を実施する。	   	山崎 洋幸

### 2) 法規制遵守状況のチェック結果

#### リサイクル関連法の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
自動車リサイクル法	第73条	再資源化預託金等の預託義務	2022年9月に社用車1台廃車。適正に処理が行われたことを確認。 2024年度は事案なし。	遵法
家電リサイクル法	第6条	事業者及び消費者の責務	2021年7月12日特定家電(テレビ4台)処分時においてリサイクル券を交付し適正に処分している。 2024年度は事案なし。	遵法
資源有効利用促進法	第5条	消費者の責務	2024年度においてはパソコン処分事案は発生していないが、 2013年2月の処分時においては適正に処分及び書類の保管を実施。	遵法
プラスチック資源循環法	第4条第1項 第4条第3項	事業者の責務	プラスチック使用製品廃棄物について、ストレッチフィルム、 廃樹脂パレットは再資源化事業者にて有価売却、その他廃プラスチック類は分別して産業廃棄物として処理している。	遵法

## 廃棄物処理法の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
廃棄物処理法 廃棄物処理法施行令	第3条	排出者責任の原則	委託業者の事業系一般廃棄物及び産業廃棄物許可証の写しを受領、確認済。	遵法
	第6条の2 第6項	事業者の一般廃棄物の処理		
	第12条第5項 第12条第6項 令第6条の2 令第6条の2 第4号	産業廃棄物 委託基準	産業廃棄物委託契約が交わされており、委託契約書が保管されている。 併せて、許可証の有効期限が期限内であることを確認。	
	第12条 第2項	事業者の処理 (産業廃棄物 保管基準)	産業廃棄物保管場所の掲示板を設置し、囲いを設けて保管。 保管場所は屋内、床面はコンクリートであり、飛散、流出、地下浸透、悪臭発散の恐れもない。 水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯)については保管場所に仕切りを設置。	
	第12条の3 第1項	産業廃棄物マニフェストの交付	2024年度計4枚のマニフェスト交付事例あり。全て適正に記入され、保管もされている。また、これらの報告については、2025年4月2日、越谷環境管理事務所に送付完了。4月7日受付完了し、控えはファイルにて保管。 マニフェストに関しては2020年分から保管(2019年分は2025年4月2日廃棄)。	
	第12条の3 第6項	産業廃棄物マニフェストの保存		
	第12条の3 第7項	マニフェストに関する報告書の 作成・報告義務		
PCB特措法	第6条	保管等の届出	蛍光灯器具入替時にPCB混入の疑いありの安定器(コンデンサ)を計11個発見(令和6年3月6日届出、同6月29日処分完了)。 令和6年度分の処分状況の届出とし2025年4月17日越谷環境管理事務所に送付完了、控えはファイルにて保管。	遵法
	第3条 第10条	事業者の責務 期間内の処分	2024年3月21日に搬入荷姿登録完了。2024年6月29日に処分完了。	

## 5.PDCAで見る環境関連法規遵守の取組

### 典型七公害関連法の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
騒音規制法	第5条	規制基準の遵守義務	年4回敷地境界4か所にて測定を実施。問題がないことを確認。	遵法
	第6条	特定施設設置の届出	届出済(平成26年4月10日許可番号0030号)。	
	第10条	氏名変更等の届出	届出済(令和7年1月6日)。	
振動規制法	第5条	規制基準の遵守義務	未測定(但し、近隣からの苦情は無く、届出時に八潮市役所による検査済)。	遵法
	第6条	特定施設設置の届出	届出済(平成26年4月10日許可番号0030号)。	
	第10条	氏名変更等の届出	届出済(令和7年1月6日)。	
八潮市公害防止条例 	第17条の1	特定工場設置の許可	設置許可済(平成22年5月7日許可番号0031号)。	遵法
	第18条の1	特定工場変更の許可	変更許可済(令和7年1月6日)。	
	第20条	掲示板の設置	道路沿いの入口に設置されている(写真参照)。	
悪臭防止法	第7条	規制基準の遵守義務	臭気を感じる事無く、近隣からの苦情もないことから、当社により住民の生活環境が損なわれていないと判断できる。	遵法

### その他の環境関連法の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
草加八潮消防組合火災予防条例	第43条	防火対象物の使用開始の届出等	炭化水素貯蔵量980ℓのため少量危険物取扱所に該当。八潮市消防本部に届出済。	遵法
消防法	第13条3項	危険物取扱者立会いの義務	2024年4月現在、免状所持者4名。今後更に増員予定。	遵法
	第13条の23	保安に関する講習受講義務	2024年度該当者なし。	
危険物の規制に関する規則	第51条第2項	写真の書換え	2024年度該当者1名。2024年5月24日書換え完了。	遵法
消防法施行規則	第33条の5			

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
浄化槽法	第5条	設置等の届出	届出済。	遵法
	第10条	保守点検及び浄化槽の清掃(浄化槽管理者の義務)	単独、分離接触ばっ気方式、処理対象5人以上(点検3月1回、清掃年1回義務)に対し 点検年4回 (2024.3/7,6/6,9/4,12/4) 清掃年2回 (2024.5/31,7/22) 実施。問題無し。	
	第11条	水質に関する検査(定期点検)	2024年11月27日に実施 (判定：適正)	
	第11条の2	使用の休止の届出等	届出済(令和6年8月23日 浄化槽使用廃止届出書)	
八潮市下水道条例	第10条 1項	排水設備等の工事の検査	届出済(令和6年8月23日、排水設備工事完了届出書)	遵法
	第25条	使用開始等の届出	届出済(令和6年8月23日、公共下水道使用開始届出書)	
フロン排出抑制法	第16条 第1項	第一種特定製品の管理者の判断の基準となるべき事項	2024年5月30日、8月31日、11月18日、2025年2月10日に簡易点検実施。記録も保管されている。チラ一定期点検は2024年6月11日に実施。	遵法
	判断基準 第4項	点検記録の保存	2017年分より全て保管されている(電子保管)	
	第41条	第一種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	2022年度業務用エアコン2台の入替を実施。2022年6月28日発行の2台分の回収回収フロン破壊証明書を受領、適正に保管されている(破壊処理量：15.7kg)。2024年度は当該事案なし。	
労働安全衛生法	第12条の2	安全衛生推進者等	2018年12月14日、係長 山崎洋幸が安全衛生推進者養成講習を受講。同日修了。	遵法

## 5.PDCAで見る環境関連法規遵守の取組

### 企業間の取決め・その他への対応状況

法令名	チェック結果	遵守状況
企業間の取決め (日本ケミコングリーン調達ガイドライン、ルビコン環境負荷物質一覧表)  その他(RoHS指令、REACH規則)	禁止物質不使用証明書を全サプライヤーから受領し、顧客宛提出済。 日本ケミコン株式会社様：グリーンサプライヤー認定更新済(有効期限2028年2月25日) ルビコン株式会社様：最新版の製品の含有に関する不使用保証書(RUB-45)を2025年3月19日に提出済。 RoHS指令、REACH規則については各サプライヤーより不使用証明書を受領し、都度顧客宛展開。	<b>遵法</b>

### 3) 違反・訴訟の有無

環境法規等の逸脱はありませんでした。

また、過去5年間にわたって、違反や訴訟も1件も発生しておりません。

### 4) 法規制の遵守状況の評価と次年度以降の取組内容

活動概要	関連SDGs	評価点	寸評、次年度以降の取組内容
法規制改正状況の確認		<b>10点</b>	遵守状況チェックと同時に実施。 次年度も同タイミングで実施予定。 入手した環境関連法規については電子ファイルにてPC管理。
騒音測定	 	<b>10点</b>	計画通り年4回の測定を実施。 全て規制値内(最大69dB)。 次年度も年4回の測定を継続。
第一種特定製品(業務用エアコン)簡易点検・定期点検	 	<b>10点</b>	計画通り簡易点検年4回、定期点検年1回実施。 次年度も法が定める回数の簡易(定期)点検を実施する。
法規制遵守のための教育	 	<b>10点</b>	計画通り年5回+期末テスト(生物、法規制ミックスにて出題)の計6回実施。 次年度も年4回の実施を計画。
職場の危険箇所、機械類取扱い時注意点等に関するアンケートの実施と改善案の提示	   	<b>0点</b>	実施なし。 次年度は取組の中で実施されるよう安全衛生推進者による啓発を実施する。
労働安全衛生教育の実施	   	<b>10点</b>	計画通り年2回実施。 次年度も年2回の実施を計画。

### 6) 法規制遵守の取組に関する代表者の評価・指示

法規制遵守に向けた活動を全員で行い意識を共有することで、引き続き各種法令の確実な遵守を図ってほしいと思います。

# 来ハトメ環境トピックス2024

## ① 年に一度の「恐怖の時間」到来……

～2024年度「私のSDGs」ふり返り(個人の取組) 編～

### 今年もまた、来てしまった「この時」

前年度の数字が出揃う4月、事務局にとっては1年の内で最も慌ただしく、それと同時に前年度の取組の全貌が良くも悪くも見えてしまう「恐怖の時期」であったりもします。

慌ただしさよりも恐ろしさが勝るこの感覚——。そう、学生の頃に何度も経験した通知表を受け取る前の緊張感にとても近いような気がします。緊張すれどもはやどうすることもできないところなど、まさにそっくりと個人的には思います。

そんな脂汗の出そうなイヤな感覚を、こうして皆さまと共有するときが今年も訪れてしまいました…。ということで2024年度の「ふり返り」結果を今年も御披露したいと思います。

### 「私のSDGs」2024年度の「ふり返り」結果

例年通り、まずは年間の全従業員の「私のSDGs」の目標数(アイコンベース)の合計から。結果から申し上げますと過去最高だった前年度より更に54個増加し、合計数は349個。取組をスタートして以後連続

年度	アイコン数
2018	160
2019	177
2020	236
2021	266
2022	277
2023	295
2024	349

SDGs取組数  
(アイコンベース)の推移

して増加させることに今年も成功しました。ゴール毎の状況を見てみると、特に増加が著しかったのは7(エネルギー)が前年度比+10、13(気候変動対策)が同+12、8(経済成長)に至っては同+18と大幅増加。増加の要因について取組の内容を分析してみると、7番、13番の増加については昨今世界的に盛り上がっている脱炭素化の流れを受け、個人レベルでもかなり脱炭素に繋がる取組が取り入れられていることがあるようです。それらの改善につながる「機器の更新」や「エコドライブ」といった取組に意識を向ける従業員が多く見受けられ、大幅な増加につながったものと考えられます。また、8番については昨今の物価上昇や新NISAスタートに端を発する投資ブームの影響が大きかったようで、「賢いお金の節約方法を考える」、「投資に挑戦する」といった目標が多く見受けられたのが増加の要因だったようです。

その一方、12番(生産・消費)、14番(海洋保全)、16番(平和・司法)の3項目では取組数が前年度比減少。特に16番については減少した上に目標とし

て取り上げられた数としても最小(2個)という結果でした。平和や法規制遵守は当たり前の事であるためあえてSDGsの目標とするまでもないということもその理由として考えられますが、個人レベルで意識するのがなかなか難しく、目標として取り上げにくいといった背景がもしかしたらあるのかも知れないとも考えられます。

こうしたことも踏まえ、今後の社内教育の中でこれらの啓発を取り入れることも必要かも知れません。以下に、ゴール毎の前年度からの増減数を示します。

NO.	目標	具体的行動	前年増減
1	貧困撲滅	募金、ボランティア	+2
2	食料問題解決	食べ残し防止	+6
3	健康	禁酒、禁煙、運動	+2
4	教育	学習	+2
5	男女平等	家事分担	+1
6	水	水質汚濁防止	±0
7	エネルギー	クリーンエネルギーへの転換	+10
8	経済成長、労働	雇用、売上目標達成	+18
9	インフラ、産業化	生産、不良削減	+2
10	不平等是正	賃金改善、外国人差別改善	+4
11	都市、居住	住宅購入、防災、SDS	+1
12	生産、消費	G調達、廃棄物削減、CSR	△6
13	気候変動対策	GHG削減	+12
14	海洋保全	海洋汚染防止、生態系保護	△3
15	陸域保全	生態系保全、砂漠化対策	+2
16	平和、司法	戦争撲滅、政治参加、違法	△2
17	パートナーシップ	途上国援助、国家間協力	+3
前年度比増減			+54

2023年度「私のSDGs」アイコン毎の評価点集計結果

次に評価点。こちらについては7.9点と前年度と変わらずという結果でした。

個別に見ると4(教育)が4.8点と最も悪かったのがとても気になるところ。どうやら、資格試験への挑戦を目標に掲

年度	※評価点
2018	7.9
2019	7.9
2020	7.6
2021	7.5
2022	7.6
2023	7.9
2024	7.9

SDGs評価点の推移

げている方の挑戦の停滞がその要因。社会人になってなお学ぶことは非常に困難を伴いますが、その先にある成長を手にするためには避けて通れないこともまた事実。どうか工夫をして困難を乗り越えてほしい。老婆心ながらそう強く願う次第です。

SDGs目標	評価点計	満点	割合評価点
1 貧困撲滅	84	90	9.3
2 食料問題解決	121	160	7.6
3 健康	177	220	8.0
4 教育	29	60	4.8
5 男女平等	45	70	6.4
6 水	104	150	6.9
7 エネルギー	291	370	7.9
8 経済成長、労働	290	380	7.6
9 インフラ、産業化	89	120	7.4
10 不平等是正	106	130	8.2
11 都市、居住	91	110	8.3
12 生産、消費	511	640	8.0
13 気候変動対策	317	390	8.1
14 海洋保全	141	170	8.3
15 陸域保全	176	210	8.4
16 平和、司法	20	20	10.0
17 パートナーシップ	173	200	8.7
平均	2765	3490	7.9

「私のSDGs」2024年度ゴール別評価点

# 6.PDCAで見る緊急事態の想定とその対応策

## 1) Plan 想定される緊急事態

当社が2024年3月現在想定していた緊急事態は以下の3点です。

- ① 潤滑油の漏洩
- ② 地震の発生
- ③ 火災の発生
- ④ 洪水(気候変動適応策も踏まえた活動)

2024年度は、上記想定に基づき、下記3)の通りの訓練を実施しました。

## 2) Plan 環境経営計画とSDGs

NO.	取組内容	SDGs	実施責任者
①	火災、地震避難訓練の事前準備及び実施指揮と事後のフォローを行う。	4 質の高い教育をみんなに、11 気候変動に臨みの対応	佐々木 勝
②	製造現場の油漏出訓練の事前準備及び実施指揮と事後フォローを行う。	4 質の高い教育をみんなに、6 清潔な水とトイレを世界中に、11 気候変動に臨みの対応	加茂 隆弘
③	洪水を想定した訓練の事前準備及び実施指揮と事後のフォローを行う。	4 質の高い教育をみんなに、8 働きがいも経済成長も、9 産業と技術革新の基盤をつくろう、11 気候変動に臨みの対応、13 気候変動に臨みの対応	有山 浩一郎
④	排水ポンプの点検を行う。	8 働きがいも経済成長も、9 産業と技術革新の基盤をつくろう、11 気候変動に臨みの対応、13 気候変動に臨みの対応	有山 浩一郎
⑤	洪水発生時の被害軽減のための改善箇所を特定し、改善を指示する。	8 働きがいも経済成長も、9 産業と技術革新の基盤をつくろう、11 気候変動に臨みの対応、13 気候変動に臨みの対応	来 満 来 昌伸
⑥	ハザードマップを各階に掲示し、災害危険性、避難場所等の情報を共有する。	4 質の高い教育をみんなに、8 働きがいも経済成長も、9 産業と技術革新の基盤をつくろう、12 つくる責任、13 気候変動に臨みの対応	有山 浩一郎
⑦	火災、地震時の心構えに関する教育を実施する。	4 質の高い教育をみんなに、11 気候変動に臨みの対応	佐々木 勝
⑧	災害用物資倉庫の管理を行う。	3 持続可能な消費と生産、6 清潔な水とトイレを世界中に、11 気候変動に臨みの対応	佐々木 勝

## 3) Do 緊急事態の対応及び訓練状況

### 洪水を想定した訓練(土のう積み訓練)(2024年8月16日実施)

夏季休暇明け初日、翌日の大雨予報を受け急遽実施した通算4回目の土のう積み訓練。

洪水を想定した訓練の良いところは、ズバリ、事前の予報に基づき実施すれば対策を兼ねられること。

もし予報が外れて空振りになったら「実のある訓練ができた」で良いわけですから、ね。

#### 参加者からの感想

- 手際は訓練の度に良くなっている。毎年の訓練の成果により土のう・ブルーシートの保管場所も熟知され、準備も早くなっている。



## 地震・火災時避難訓練及び消火訓練(2024年11月11日実施)

当社エコアクション21認証取得と共にその数を重ねること15回。避難訓練もだいぶ板についてきました。

水消火器による消火訓練も毎年実施してきただけあって、どの従業員ももうお手のもの。

数をこなすって、とても大事なことなんですね。



## 潤滑油の漏洩時訓練(2024年11月29日)

毎年様々な漏洩原因を想定して実施している潤滑油の漏洩時訓練。今回はプレスへの油供給に用いるペール缶のホース劣化による漏洩を想定し、その補修方法の訓練を実施。

補修はペール缶が吊るされた状態で実施する必要がある、慣れが必要。実演者以外の作業員についても体感しておく必要ありとの意見が聞かれました。



## 4) 緊急事態の想定・訓練の評価と次年度以降の取組内容※1

※2NO.	SDGs評価点	寸評、次年度以降の取組内容
①	10点	計画通り実施。 次年度も避難訓練と消火訓練をセットとした反復訓練を計画。
②	10点	計画通り実施。 次年度も今年度同様漏洩箇所を選定の上実地訓練を計画。
③	10点	計画通り実施。 次年度も土のう積み訓練を実施予定。
④	9点	計画通り実施するも実施記録がなかったため1点減点。 次年度も梅雨前の実施を計画。実施記録用紙も作成する。
⑤	10点	前年度に引き続き2Fフロアの雨漏りの補修を実施。 次年度も修繕箇所があれば即座に実施する。
⑥	10点	製造部門(工作室)管理部門(入口の掲示板)に掲示完了。 掲示はそのまま継続する。
⑦	10点	年2回計画、計画通り実施。 次年度も年2回の実施を計画。
⑧	10点	5月に在庫及び賞味期限の確認を実施。新たな補充は実施せず。 次年度も同様の確認を実施。

※2 NO.①～⑧は前頁(23頁)の①～⑧に対応しています。

## 5) 緊急事態の想定・訓練に関する代表者の評価・指示

想定される緊急事態に備えて、各訓練は計画に沿って緊張感をもって行いましょう。  
緊急事態は、想定されるときには発生しないので……。

# 7.数字で見る2024年度環境負荷の全体像

## 1) 過去5年間の環境負荷の実績

項目(単位)		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
CO <sub>2</sub> 排出量	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )※1	8,585	11,390	9,507	5,203	3,272
	電力(kWh)	513,107	525,194	625,026	561,300	530,047
	灯油(ℓ)※2	1,488	2,066	1,783	448	-
	LPG(kg)	396	454	483	416	483
	ガソリン(ℓ)	1,360	1,437	1,559	1,224	786
廃棄物	事業系一般廃棄物(kg)	1,058	1,067	3,296	1,278	1,063
	産廃(廃ウエス)(kg)	2,000	1,400	1,600	1,200	1,019
	紙くず(リサイクル量)(kg)	1,930	1,960	2,550	1,950	1,950
	廃アルミ(有価物)(kg)※3	229,080	234,250	279,950	227,440	138,670
水	上水(m <sup>3</sup> )	374	371	451	409	409
化学物質	炭化水素(ℓ)※4	14,000	13,000	15,400	15,800	14,600
	潤滑油(ℓ)※5	20,000	22,000	27,000	22,000	21,000
グリーン調達率(%)		74.69	71.98	77.74	66.27	86.91

※1 二酸化炭素排出係数： 出光グリーンパワー(現 出光興産(株))のプレミアムゼロプラン(メニューA)の令和4年度調整後排出係数(0.000 kg-CO<sub>2</sub>)を基に算出しています。

※2 2022年9月に灯油暖房器を撤去し、灯油使用は終了しました。そのため、2023年度以降の灯油使用はありません。

※3 廃アルミ(有価物)は、環境経営目標「不良品の発生削減による材料歩留まりの向上」の評価項目になります。

※4 炭化水素の物品名は「ソルトーフP-1」(第2石油類 非水溶性)になります。

※5 潤滑油の物品名は「ラタックコンパウンド」(第4石油類)になります。

項目毎の基準年度は、2)環境目標の達成状況を御参照下さい。

## 2) 2024年度の実績と目標達成状況

### 二酸化炭素排出量に関するもの

項目	単位	基準年度	目標値	実績値	達成状況
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO <sub>2</sub> )	2013年度	104,425	2,678	達成
電力使用量	※1洗浄袋数(調整)原単位(kWh/袋)	2015年度	19.16	17.17	達成
LPG使用量	稼働日原単位(kg/稼働日数)	2010年度	2.59	1.68	達成
ガソリン使用量	総量(ℓ)	2023年度	777.70	741.17	達成

### (参考)サプライチェーン排出量

Scope	説明	実績値	割合(%)
Scope1	当社が直接排出した温室ガスの量(LPG、ガソリン由来、単位：t-CO <sub>2</sub> eq)	2.68	0.05
Scope2	他者から供給されるエネルギー由来の温室効果ガス量(電力、単位：t-CO <sub>2</sub> eq)	0.00	0.00
Scope3	サプライチェーンの上(下)流から排出される温室効果ガス量(単位：t-CO <sub>2</sub> eq)	5,213.47	99.95
サプライチェーン排出量	Scope1、Scope2、Scope3の合計量(単位：t-CO <sub>2</sub> eq)	5,216.15	100.00

### 廃棄物排出量に関するもの

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
事業系一般廃棄物	2014年度	総量(kg)	1,633	1,968	未達
産廃(廃ウエス)	2017年度	総量(kg)	1,710	800	達成
紙くずリサイクル率	2010年度	※2紙くず(kg)/ゴミ総量(kg)×100	38.64%	30.77%	未達
廃アルミ(有価物)	2010年度	※1洗浄袋数(調整)原単位(kg/袋)	8.35	6.35	達成

### 水使用量

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
水	現状把握	稼働時間原単位(m <sup>3</sup> /稼働時間(h))	-	0.257	-

## 化学物質使用量に関するもの

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
炭化水素	2017年度	洗浄袋数原単位(ℓ/袋)	0.561	0.50	達成
潤滑油(ラタック)	2010年度	※1洗浄袋数(調整)原単位(ℓ/袋)	0.81	0.67	達成

## グリーン調達

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
グリーン調達	-	グリーン調達率(%)	87.91%	71.78%	未達

※1洗浄袋数(調整)原単位とその算出方法(電力、ラタックの原単位算出に使用)

- 手順1. 当月洗浄袋(ロット)数÷当月製造数=製品1個あたり袋数を計算する -①  
 手順2. 調整(1)の値を計算する 調整(1) = ① ÷ (基準年洗浄袋(ロット)数 ÷ 基準年製造数) -②  
 手順3. 調整(2)の値を計算する 調整(2) = {1- (②-1)} × 当月使用量 -③  
 手順4. 調整後原単位を計算する 調整後原単位 = ③ ÷ 当月製造数

※2ごみ総量(kg)： 事業系一般廃棄物(2024年度：1,968kg)、産廃(廃ウエス)(2024年度：800kg)、紙くず(2024年度：1,230kg)の合計量(3,998kg)となります。

表中赤太字の項目は、目標値未達の項目を表します。

## 3) 2024年度マテリアルバランス

インプット	上:使用(排出)量 下:費用	プロセス	アウトプット	上:処分(売却)量 黒:収入 赤:支出	
アルミ材料	396,127kg <b>374,072千円</b>	原材料調達	製品	239,377kg 531,599千円	
			アルミスクラップ	156,750kg 49,091千円	
電力	424,058kWh <b>14,434千円</b>		製造	CO <sub>2</sub>	2,678kg-CO <sub>2</sub> — 千円
LPG	319.56kg <b>145千円</b>			事業系一般廃棄物	1,968kg <b>95千円</b>
ガソリン	741.17ℓ <b>128千円</b>			産廃(廃ウエス、廃油)	800kg <b>53千円</b>
炭化水素	10,200ℓ <b>3,297千円</b>			廃プラスチック類	60kg 0.6千円
潤滑油	14,000ℓ <b>9,928千円</b>			紙くず	1,230kg 0千円
上水	370m <sup>3</sup> <b>83千円</b>	廃蛍光管		31.5kg <b>23千円</b>	
		売却	PCB廃棄物	13.6kg <b>195千円</b>	
			排水(浄化槽・下水道)	469m <sup>3</sup> <b>80千円</b>	
			樹脂パレット・樹脂製廃通函	717kg 0千円	
			ストレッチフィルム	60kg 0.5千円	

# 8.PDCAで見る2024年度環境活動

## 二酸化炭素排出量（目標値：総量（kg-CO<sub>2</sub>））

### Plan 中長期環境経営目標

(単位：kg-CO<sub>2</sub>)

年度	目標値	基準年度比
2024	104,425	68.0%削減
2025	88,108	73.0%削減
2026	71,792	78.0%削減
2027	55,475	83.0%削減
2028	39,158	88.0%削減
<b>2030</b>	<b>16,317</b>	<b>95.0%削減</b>
<b>2035</b>	<b>カーボンニュートラル</b>	
基準年度	2013年度	
※基準年度実績	326,337kg-CO <sub>2</sub>	

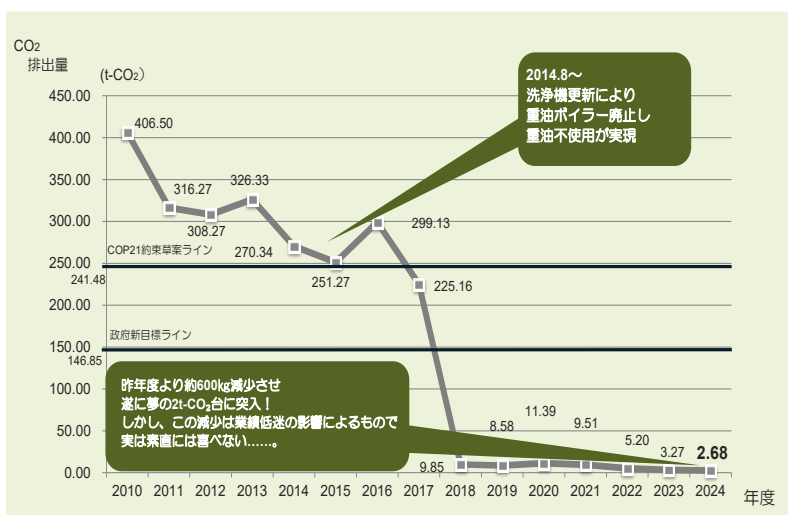
※CO<sub>2</sub>排出量の基準年度と長期目標設定について  
 2021年4月22日開催の米国主催気候サミットにおいて、2050年カーボンニュートラルと整合的で野心的な目標として「2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指すこと、さらに、50%の高みに向け挑戦を続ける」という日本の新たなCO<sub>2</sub>削減目標が公表されました。  
 それを受け、当社でも2022年4月に「2030年度に2013年度比95%削減、2035年カーボンニュートラル」という更に野心的な目標に改訂。目標達成に向けての挑戦を続けています。

### 中長期環境経営目標達成のために

灯油不使用が実現し、残るはガソリンとLPGのみ。これらの電動化が実現できれば夢のカーボンニュートラル達成!しかし、その前途は実に多難、なのです……。  
 まずガソリン。これについては残る1台の社用車が電動化すれば達成ですが、社用車の購入時期を考えると、次の更新は2030年前後。また、もし社用車が増車となった場合、単純に増加する懸念があるほか、これらの更新に伴い電動車が選ばれるかどうかも未知数……。  
 また、フォークリフトは得意先からの貸与品なので、変更にあたっては得意先の協力が必須。金型焼入れの電化に至っては製造方法自体の変更も伴うため、金型の強度を保てるかどうかの検証はもちろんのこと、顧客の変更許可を得ることも必要となってきます。  
 こうした困難を一つずつクリアした先にあるカーボンニュートラル。2035年までにその高みに到達すべく、これら一つずつクリアしていく。それしかありません。

Do 実施  
 弊社におけるCO<sub>2</sub>の具体的な排出源は、エネルギー(LPG、ガソリンの2項目)使用に伴うものとなります(電力はグリーン電力使用のためCO<sub>2</sub>排出源とはなっていません)。  
 それぞれの具体的な取組・結果及び分析については、後の頁にて詳述します。

### Check 確認 二酸化炭素排出量の推移と2024年度の実績



3t-CO<sub>2</sub>台に突入した前年度から更に600kg-CO<sub>2</sub>減を実現し、2t-CO<sub>2</sub>台に突入!エコアクション21の取組開始時からの削減率は実に99.3%!!というと実に聞こえは良いのですが、業績低迷による排出減といった方が正しいというのが、2024年度の実態です……。  
 設備の電動化等、更なる脱炭素化への知見を業績向上のタイミングで実現させ更なる脱炭素化!とをもっていきたいと思います。  
 2024年度の新たな取組とし「Scope3算定」を実施。これにつきましては、トピックス(31,32頁)にて御紹介します。

### Act 見直し 二酸化炭素排出量削減に関する代表者の評価・指示

これまでの二酸化炭素排出量の減少推移は、当社環境活動の最大の成果と言えます。  
 カーボンニュートラル達成に向けて制約もありますが、出来ることから進めていきたいと思ひます。



## レポートを読み解くためのキーワード

### 当社独自の評価基準「SDGs評価点」とは？

#### SDGsで環境経営を総点検

当社環境経営レポートでは、2018年版より、「取組状況の確認及び評価(Check)」の手法として「SDGs評価点」なるものを採用しています。

これは、SDGsの観点から当社の環境経営に関する取組状況を点数化することと、当社の取組がSDGsをどれだけ満たすものとなっているのか、数値的に可視化することを狙い、設定したものです。

年間の環境活動の状況をいざ評価しようにも、数字で表せる使用(排出)量ならまだしも、教育・訓練や削減に繋がる活動の実施状況などについては、評価が難しいというのが、従来の悩みでした。

そこで、環境経営計画策定時に全ての計画をSDGsと紐付けし、年度終了時に独自基準に基づきすべての計画を点数化。そうすることで、今までどうしても表現が難しかった数字に表せない活動の取組状況を数字で表現したり、年度毎の比較をすることまで可能となりました。また、SDGsに紐付けした結果をグラフ化することで、現在の活動がSDGsをどれだけ満足する活動となっているのか、欠けている部分はどこなのかというところまで、「見える化」できてしまう。いいことづくめの評価方法ではないのかな?と考案者として自画自賛している次第です。

このようにいいことづくめ(?)の「SDGs評価点」。これが今後世の中に広まるかどうかはひとまず置いておいて、その評価基準は、次の通りです。

#### 「SDGs評価点」評価基準

##### 環境関連法規(17～20頁)

10点満点。遵守事項各項目につき遵守されていないものがあつた場合、1項目ごとに△1点。

また、毎月確認が必要な項目については、年間完全達成で満点、達成できない月があれば1点減点とする。

##### 緊急事態の想定とその対応策(23、24頁)

10点満点。2020年度年初に予定した訓練3項目(避難訓練、油漏出訓練、八潮市消火訓練)について、実施した場合は10点、未実施の場合は理由の如何を問わず0点とする。

##### 項目毎の取組(数値目標)(25～44頁)

目標達成率を点数とする(但し、100%以上10点(満点)、小数点以下切捨て)。

##### 項目毎の取組(教育訓練)(17～44頁)

各教育訓練項目それぞれ10点満点。実施回数にて採点し、計画通り実施の場合は満点(10点)、未実施の場合は、未実施1回毎の減点= $10 \div$ 実施予定回数(小数点以下切上げ)に基づき減点する。

##### 項目毎の取組(数値以外の目標)(27～44頁)

実施の場合は満点(10点)、未実施の場合は理由の如何を問わず0点とする。

##### 補足

1つの環境活動計画につき2つ以上のSDGsが並存しているものについては、どちらも同じ点数であるものとして評価する。

当社環境経営の気になる最新情報は  
リニューアルされた当社ホームページで  
今すぐチェック!!



当社ホームページQRコード

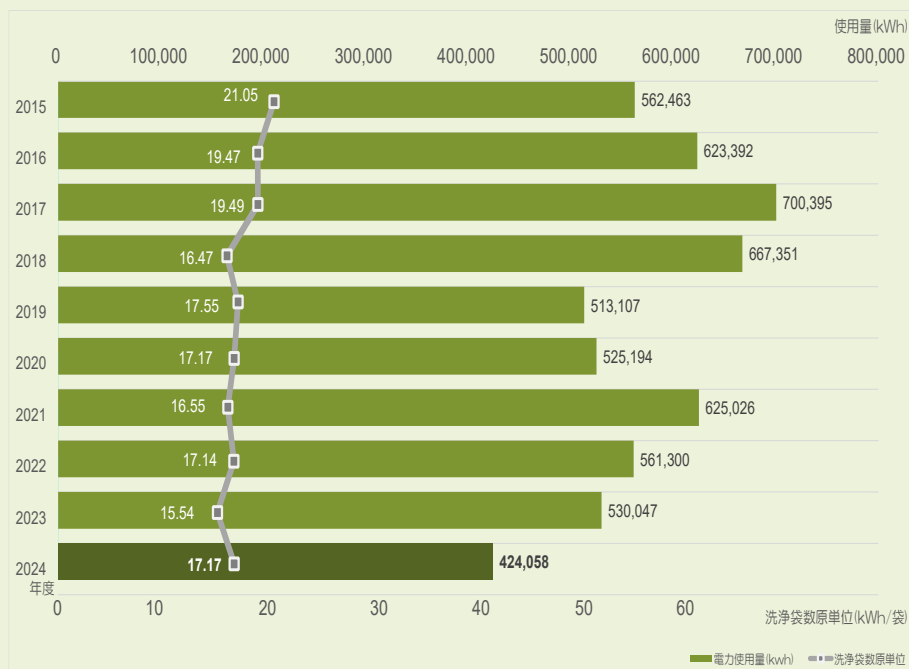
# 8.PDCAで見る2024年度環境活動

## 電力使用量(目標値：洗浄袋数(調整)原単位(kWh/袋))

Plan 計画 Do 実施 Check 確認

### 中期環境経営目標・2024年度環境経営計画及び実施状況

基準年度	2015年度	中期環境経営目標					
	2015年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
基準年度	21.05	目標値	19.16	18.95	18.73	18.52	18.31
実績	kWh/調整袋	基準年度比	9%削減	10%削減	11%削減	12%削減	13%削減
取組概要(担当者)		SDGs	評価点	寸評・次年度の取組			
使用量記録・月毎の見直し (田辺 栄一)		12 持続可能な消費と生産	10点	原単位目標達成率111.55%(17.17kWh/調整袋) 次年度は基準年△10%を目標とする。			
電力関連の教育実施 (田辺 栄一)		4 質の高い教育をみんなに、7 持続可能なエネルギー、12 持続可能な消費と生産、13 気候変動に具体的な対策を	10点	計画3回、実施3回(計画通り)。 次年度も年3回の実施を計画。			
設備の情報収集・提案等 (田辺 栄一)		7 持続可能なエネルギー、12 持続可能な消費と生産、13 気候変動に具体的な対策を	10点	2F倉庫スペースにセンサーライトを導入。 次年度も継続。			
デマンド管理(夏期290kW、冬期275kW) (田辺 栄一)		13 気候変動に具体的な対策を	7点	293kW(目標を3kW逸脱)。 次年度目標値も290kWとする。			
電力会社の比較実施 (田辺 栄一)		7 持続可能なエネルギー、8 働きがい、経済成長、12 持続可能な消費と生産、13 気候変動に具体的な対策を	10点	2024年4月に実施。 次年度も動向調査を兼ね実施。			
デマンド抑制策検討及び実施 (来 満)		8 働きがい、経済成長、11 持続可能な都市と地域、12 持続可能な消費と生産、13 気候変動に具体的な対策を	10点	デマンドコントローラーを参考に生産調整実施。 次年度も継続実施する。			
温・湿度の記録 (田辺 栄一・ガヤラン ショウジ・安田ジョセフィーナ)		12 持続可能な消費と生産	10点	全ヶ所で毎日適切に実施。 次年度も継続実施する。			



使用量が約20%減少したものの原単位は約10%増加。デマンド目標も超過。熱中症対策で夏場の空調管理を多少緩和している影響もありますが、空調の適正利用については今一度考える必要があります。これにつきましては特に夏場の監視を強化します。次年度については、CO<sub>2</sub>削減の核となるグリーン電力の調達は継続。その他については現在業績低迷中で設備投資が難しいことから、運用改善中心の1年となりそうです。

原単位算出式：※基準年度の洗浄袋数を基に調整した電力使用量(kWh)÷洗浄袋数(袋)  
※原単位計算方法については26頁「※1洗浄袋数(調整)原単位とその算出方法」をご覧ください。

### Act 評価し 電力使用量削減に関する代表者の評価・指示

夏場のデマンド管理が最大のポイントだと思います。連日真夏日(猛暑日)が予想される夏場、生産活動は遅滞なく行い、且つ冷房は使用する。それでもデマンド目標を達成するために生産管理とデマンド管理を徹底して、夏場を乗り切りましょう。

# その他のエネルギー使用量(目標値：各グラフ上部に記載)

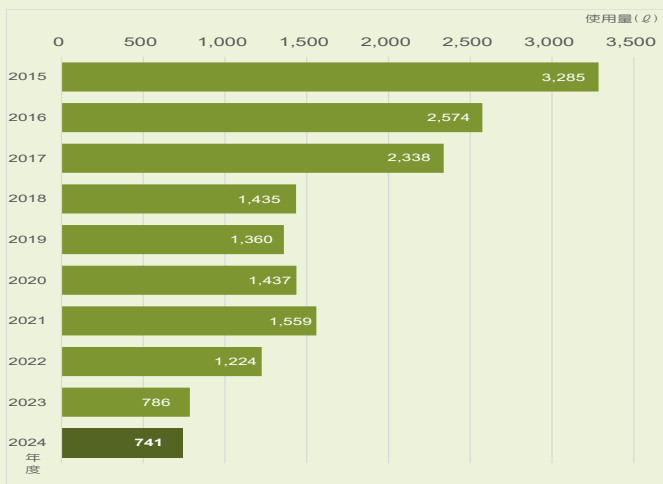


## 中期環境経営目標・2024年度環境経営計画及び実施状況

LPG	基準年度	2010年度	中期環境経営目標					
	基準年度実績	3.01 kg/日	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
			目標値	2.59	2.56	2.53	2.50	2.47
			基準年度比	14%削減	15%削減	16%削減	17%削減	18%削減
	取組概要(担当者)		SDGs		評価点	寸評・次年度の取組		
	使用量記録・毎月の見直し (グエン ヴァン トゥアン)				10点	原単位目標達成率154.01%(319.56kg) 次年度は基準年度△15%を目標とする。		
	夏期の湯沸器使用ルール啓発・実行 (グエン ヴァン トゥアン)				10点	計画通り実施。 来年も継続。		
	冬期の湯沸器使用ルール啓発・実行 (グエン ヴァン トゥアン)				10点	計画通り実施。 来年も継続。		
	フォークリフトの電化検討 (来 昌伸、有山 浩一郎)				0点	計画するも実行できず。 あきらめずに電化の提案は継続していく。		

ガソリン	基準年度	2023年度	中期環境経営目標					
	基準年度実績	785.6 ℓ/月	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
			目標値	777.7	769.9	762.0	754.2	746.3
			基準年度比	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
	取組概要(担当者)		SDGs		評価点	寸評・次年度の取組		
	使用量記録・毎月の見直し (来 尊重)				10点	総量目標達成率104.93%(741.17 ℓ) 次年度は基準年度△2%削減を目標とする。		
	実車によるエコドライブ講習実施 (来 尊重)				0点	計画するも実施できず。 次年度こそ実施する。		
	エコドライブ教育の実施 (来 尊重)				10点	計画4回、実施4回(計画通り実施)。 次年度も4回/年の実施を計画。		

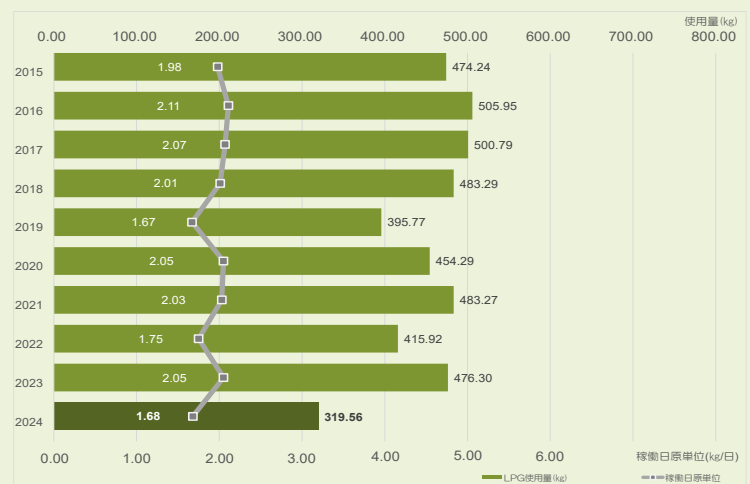
ガソリン使用量  
目標値：総量(ℓ)



2024年度は前年度比5.7%削減となっていますが、これについては、臨時休業の影響が大きいものと考えます。使用量の推移からも車両更新(2016、2018年度)の効果は一目瞭然。更なる低燃費車と言えば電気、水素となりますが、更新時にこうした車両が選択されるための下地作り(教育)に力を入れていきます。

LPG使用量

目標値：稼働日原単位(kg/日)



使用量約33%、原単位18%と共に減少。使用量に関しては時短・臨時休業といったネガティブ要素が強い減少と言わざるを得ませんが、原単位については、節約意識の向上を表すものと素直に評価したいと思います。当項目については、将来的には削減よりも使用終了をもっていききたいところ。電動化への知見を引続き積み上げていきます。



## その他のエネルギー使用量削減に関する代表者の評価・指示

今すぐに使用量0にすることは難しいですが、使用量削減に向けた取組、及び社内啓発活動は引き続き行ってください。

## 来ハトメ環境トピックス2024

### ② 審査員の縁が切り拓いた未知の領域

#### ～はじめてのScope3算定物語～

##### 一本の電話が招いた試練

1月からぼちぼち始めたレポート作成の終わりが見え始めた2024年6月13日、私宛にかかってきた1本の電話——。それが全ての始まりでした。

電話の相手はエコアクション21某地域事務局の方。聞くに「審査員向けの勉強会で、サプライチェーン排出量を取り上げたい。ついては、御社での算定事例を基に講演をしてもらえないか」とのこと。

「御社での算定事例を基に」って、前年に地元の中小企業診断士の協力バックアップの下カーボンフットプリント算定をした経験こそあれど、その時点でサプライチェーン排出量算定なんて未経験……。さすがにこれはちょっと難しいぞ！とふんだ私、「サプライチェーン排出量算定なんて弊社では経験がないのでちょっと難しい。もしどうしてもというのであれば、算定経験のある方であれば紹介することができるのでそちらに御相談頂ければ……」と、とっさの逃げ口上でその場を切り抜けることに。ところがその地域事務局の方、簡単には引いてくれない……。

「事業者の責任者兼審査員の石原さんの話が是非聞きたい。初めてというのであれば、時間がかかってもいいから、石原さん自身がサプライチェーン排出量算定を実際に算定して、その結果をお話してほしい！」  
こうして、レポート作成が終わったらちょっと一息、という私の野望はあえなく潰え、「サプライチェーン排出量」という未知なる怪物に挑む2か月間が始まることとなったのです……。

##### サプライチェーン排出量とは？

突然連呼された「サプライチェーン排出量」という謎のワード。本題に入る前に、まずはこの辺りをちょっと整理させて頂きましょう。

「サプライチェーン排出量」とは、本当にざっくりとってしまうとエコアクション21認証事業者であれば毎年計算している(させられている)二酸化炭素排出量を更に詳しく計算したもの、と言ってもちょっと分かりづらいですよ……。

毎年「環境への負荷チェック表」で自動計算される電力、燃料などの使用量の二酸化炭素排出量。じつはこれ、知らない間に「Scope (スコープ)1」「Scope2」って以下のように分けられるようです。

**Scope1**：社内で燃料からエネルギーに変えたもの(例：ガソリン・軽油・LPG・都市ガスなど)

**Scope2**：社外で燃料からエネルギーに変えたもの。通常エネルギーの状態で購入する

(例：電力など)

ところが、二酸化炭素排出量の算定には実は続きがありまして、例えば製品の原料、機械、その他会社で購入する全てのものの製造や輸送の過程、社内から出る廃棄物の処理、従業員の通勤や出張などなどといったありとあらゆる部分からも、実は二酸化炭素が排出されており、それを全て計算して「Scope3(スコープスリー)」として表しなさい、という決まりがあるのです。

こうして計算した「Scope1」、「Scope2」、「Scope3」を全て足し合わせて算出した二酸化炭素排出量のことを「サプライチェーン排出量」というのです。

##### いざ挑まんScope3算定

かくして始められたScope3という初の試み。「まずはネットで算定事例から……」と軽い気持ちで検索をかけてみましたが、算定事例なんて全くヒットせず……。途方に暮れて検索画面をスクロールしていると、「Scope3排出量とは グリーンバリューチェーン…-環境省」との文字が。

「『グリーンバリューチェーンプラットフォーム』っていうのは、昨年カーボンフットプリントを算定した際に、診断士の先生から教えて頂いたことがある。ここに行けば、何かわかるかも……。」こんな思いで『グリーンバリューチェーンプラットフォーム』の門を叩いた私。「ガイドライン」、「算定ツール」、「排出係数一覧」……、算定方法を記した説明書らしきもの、算定に使用するとおぼしき表など、算定に役立ちそうなものがあるにはありましたが、その全てが全く以て不可解……。中でも、Scope3の15カテゴリ(下表)にはその量の多さ、複雑さに困惑させられました。

Scope3カテゴリ	該当する活動 (例)
1 購入した製品・サービス	原材料の調達、パッケージングの外部委託、消耗品の調達
2 資本財	生産設備の増設 (複数年にわたり建設・製造されている場合には、建設・製造が終了した最終年に計上)
3 Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	調達している燃料の上流工程 (探掘、精製等) 調達している電力の上流工程 (発電に使用する燃料の探掘、精製等)
4 輸送、配送 (上流)	調達物流、横持物流、出荷物流 (自社が荷主)
5 事業活動から出る廃棄物	廃棄物 (有価のものは除く) の自社以外での輸送 (※1)、処理
6 出張	従業員の出張
7 雇用者の通勤	従業員の通勤
8 リース資産 (上流)	自社が賃借しているリース資産の稼働 (算定・報告・公表制度では、Scope1,2に計上するため、該当なしのケースが大半)
9 輸送、配送 (下流)	出荷輸送 (自社が荷主の輸送以降)、倉庫での保管、小売店での販売
10 販売した製品の加工	事業者による中間製品の加工
11 販売した製品の使用	使用者による製品の使用
12 販売した製品の廃棄	使用者による製品の廃棄時の輸送 (※2)、処理
13 リース資産 (下流)	自社が賃貸事業者として所有し、他者に賃貸しているリース資産の稼働
14 フランチャイズ	自社が主催するフランチャイズの加盟者のScope1,2に該当する活動
15 投資	株式投資、債券投資、プロジェクトファイナンスなどの運用
その他 (任意)	従業員や消費者の日常生活

Scope3の15カテゴリー一覧

「グリーンバリューチェーンプラットフォーム」(環境省HP)より

困惑すれど、とどまるわけにはいかない。分からないなりにガイドラインを読み進め、先ずはカテゴリ毎の排出係数表から金額、距離などを入力すれば排出係数が計算できるようなオリジナルのScope3算定表を作成するなどの準備を着々と進め、下準備については無事完了！

因みに、下準備を終えるのに要した時間は約1ヶ月。さすがは「未知なる怪物」、恐るべし！ですね。

### いざ算定！

算定に必要な情報は社内にある膨大な請求書と領収書。請求書から追っていくというのはScope1、2に近いところと言えるのかも知れませんが、その最大値の違いは、Scope1,2を計算する際には請求書に書かれたエネルギー毎の使用量を拾っていくのに対し、Scope3ではほとんどのカテゴリで、その使用金額を追っていくというところ。特にカテゴリ1(購入した製品・サービス)、2(資本財)はその最たるもので、膨大な請求書、領収書毎に書かれた品目が産業連関表上の何に当たるのかを探し、見つけたら金額を表に入力するという単純と言えば単純な作業(産業連関表ごとのCO<sub>2</sub>排出量は例の「グリーンバリューチェーンプラットフォーム」に掲載されています)。ですが、請求書やレシートに書かれた品目の全てが対象になるため、その分量たるや毎月のエネルギーデータの比ではありません。また、請求書やレシートに書かれているものがどのようなものなのかが不明なこともしばしば……。こういったものを一つ一つ整理し、金額を入力していかなければならない訳ですから、まさに気の遠くなるような作業です。

因みに、カテゴリ1,2で把握する金額は税込金額。税抜金額で把握し、途中でガイドラインを見直したところ間違いであることが判明し、最初からやり直しという試練(というか、ただのミス)も算定の途中で経験したりもしました。恥ずかしいですが……。

それから、輸送時の二酸化炭素排出量の把握もまた厄介！当社に運送便で送られてくるもの、業者が配達してくれるもの(上流(カテゴリ4))、更に当社から出荷する製品(下流(カテゴリ9))の配達にかかる排出量も把握の対象、なのです……。輸送距離と使用する車両の燃費が分かれば分かりやすく且つ非常に正確な算定ができるのですが、そんなことは極めて稀。ましてや、路線便で当社に入荷するものについては「トンキロ法」という特殊な手法を使い求める必要が……。こんな感じで覚えては計算し、間違いに気付いては入力し直しといったことを繰り返して、10月初旬に遂に完成！

算定に要した時間は約3ヶ月。下準備も含めるとScope3算定に要した時間は実に約4ヶ月。思い起こせば算定の準備を始めたのが夏至の頃。5時過ぎには夕暮れを迎える空を見上げ季節の移ろいと費やした時間の膨大さを実感しつつ、11月1日、運命の結果発表(事例発表)の時を迎えることとなりました。

### 運命の結果発表(事例発表)

サプライチェーン排出量算定の場となった事例発表の対象は全員が現役のエコアクション21審査員。全国トップクラスの環境の目利きを前にリモート講演。しかも演目はサプライチェーン排出量と難しい条件のオンパレード!それでも、いざ始まってしまえば持ち前の勢いと反応が見えないリモートの強みをフルに生かし、70分という講演時間を無事駆け抜け、7,114.91tCO<sub>2</sub>eqという驚愕のScope3排出量についても無事発表させて頂くことができました。



当日の講演資料(表紙)

### 運命の結果発表(事例発表)

2週間後、受講された皆様より寄せられた感想を頂きました。「実際に算定するイメージがわいた」、「把握の仕方が良く分かった」、等々、その全てが優しさにあふれるものばかりで「苦労したけどやってよかった!」と素直に思えたことは言うまでもありません。これを機に、今後も把握・公表を続けていければと思います。

御参考までに、2024年発行のレポートには、カーボンフットプリント算定について掲載しています。宜しければ右のQRコードよりアクセスし、御一読いただければ幸いです。



2024年レポート  
QRコード

# 8.PDCAで見る2024年度環境活動

## 廃棄物排出量(目標値：各グラフ上部に記載)



### 中期環境経営目標・2024年度環境経営計画及び実施状況

事業系	一般廃棄物	基準年度	2014年度	中期環境経営目標				
		基準年度実績	1,795 kg	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
		目標値	1,633	1,616	1,598	1,580	1,562	
取組概要(担当者)		SDGs	評価点	寸評・次年度の取組				
排出量記録・月毎の見直し (加茂 隆弘)			8点	不用品整理が響き目標達成率82.99%(1,968kg)と未達。未達につき次年度目標は据置。				
ウエスリユース(モップとして) (加茂 隆弘)			10点	毎月徹底して実施。次年度も継続。				
古紙回収ボックスの設置 (加茂 隆弘)			10点	回収ボックス設置済。次年度当該計画はなし※。				
廃棄物に関する教育(年2回) (加茂 隆弘)			10点	計画通り実施。次年度も年2回の実施を計画。				
※有価物置場に看板設置に代わる環境経営計画として次年度は「ストレッチフィルム保管場所の看板設置」を計画します。								
産廃(廃ウエス)	基準年度	2017年度	中期環境経営目標					
	基準年度実績	1,800 kg/日	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
	目標値	1,710	1,692	1,674	1,656	1,638		
取組概要(担当者)		SDGs	評価点	寸評・次年度の取組				
排出量記録・月毎の見直し (井出 学)			10点	総量目標達成率213.75%(800kg)次年度は基準年△6%を目標とする。				
「見える化ボード」設置位置の変更及び定期更新、朝礼での削減啓発の実施 (田辺 栄一)			10点	見える化ボードの設置位置を産廃(廃ウエス)置場付近に変更。次年度はボードの内容と定期更新と啓発を行う。				
分別の確認及び注意喚起 (井出 学)			10点	計画通り実施。次年度も継続。				
紙くず(有価物)	基準年度	2010年度	中期環境経営目標					
	基準年度実績	25.64 %	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
	目標値	38.64	39.64	40.64	41.64	42.64		
取組概要(担当者)		SDGs	評価点	寸評・次年度の取組				
リサイクル量記録・見直し (ホアン・バン・フク)			7点	不用品整理実施が響き、リサイクル率30.77%(目標に対する達成率は79.6%(未達))未達につき次年度目標は据置。				
紙類の分別の徹底 (全従業員)			10点	全従業員で徹底して実施。次年度も継続。				
ペーパーレス化の方法に関する検討実施 (全従業員)			10点	全従業員で徹底して実施。次年度も継続。				

※紙くずリサイクル率は以下の式で計算します。

$$\text{紙くずリサイクル率 (\%)} = \frac{\text{紙くず} - \text{事業系} - \text{産廃} - \text{紙くず}}{\text{紙くず}} \times 100$$

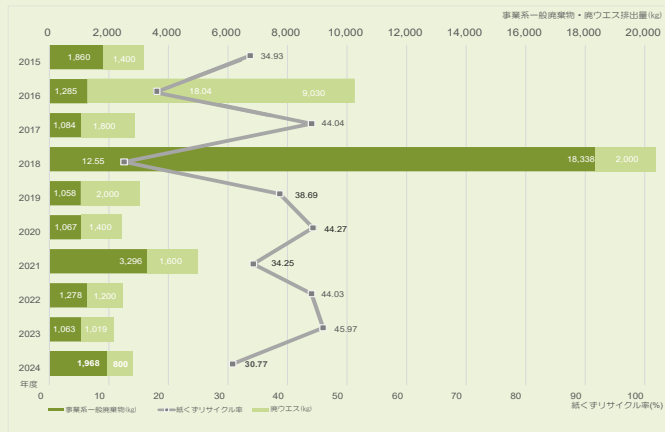
※廃アルミの原単位は調整原単位を使用します。

原単位算出式：基準年度の洗浄袋数を基に調整した排出量(kg)÷洗浄袋数(袋)  
原単位計算方法については26頁「※1洗浄袋数(調整)原単位とその算出方法」をご覧ください。

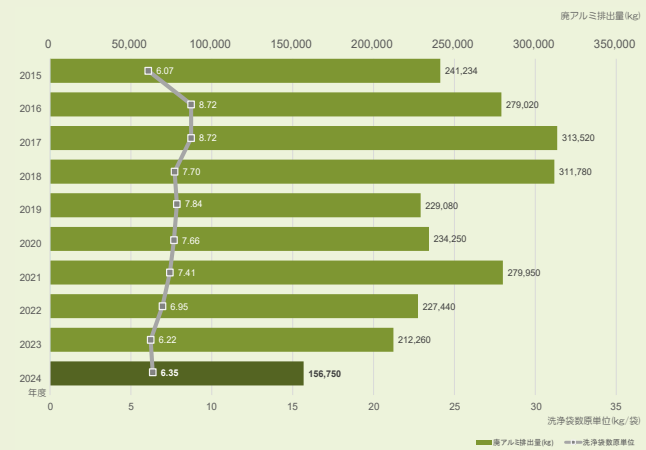
廃アルミニウム(有価物)	基準年度	2010年度	中期環境経営目標				
	基準年度実績	9.71	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	調整袋	目標値	8.35	8.25	8.16	8.06	7.96
取組概要(担当者)			SDGs	評価点	寸評・次年度の取組		
排出量記録・月毎の見直し (加藤 直)			12	10点	調整原単位目標達成率131.50%(6.35) 次年度目標は更に△1%削減。		
廃アルミ価格の調査及び掲示 (加藤 直)			4, 8, 9, 12	10点	計画通り実施。 次年度も継続。		
製品L寸法確認の徹底 (プレスオペレーター)			8, 9, 12	7点	確認不備3件/年(前年度8件/年)。 次年度目標0件。		
現品票とアイテム表示の一致を確認 (プレスオペレーター)			8, 9, 12	10点	計画通り実施。 次年度も継続		
材料台管理(グリース交換) (加藤 直)			8, 9, 12	10点	計画通り実施。 次年度も継続		
取組概要(担当者)			SDGs	評価点	寸評・次年度の取組		
材料つなぎ教育の(年12回) (井出 学)			4, 9, 12	10点	計画通り実施。 次年度も継続。		
つなぎ教育効果測定テスト実施 (井出 学)			4, 9, 12	10点	計画通り実施。 次年度12回の実施を計画。		
不良率の「見える化」 (井出 学)			9	10点	計画通り実施。 次年度も継続。		
不良傾向の分析、個別指導 (井出 学)			4, 12	10点	計画通り実施。 次年度も継続。		

 事業系一般廃棄物排出量(kg)  
産廃(廃ウエス)排出量(kg)  
※紙くずリサイクル率(%)

の推移



廃アルミ排出量(kg)と※原単位の推移



## 廃棄物排出量削減に関する代表者の評価・指示

不用品大量廃棄等あり一部目標未達の項目もありましたが、再利用・分別・見える化等、全員が意識を持って取り組んでいます。

# 8.PDCAで見る2024年度環境活動

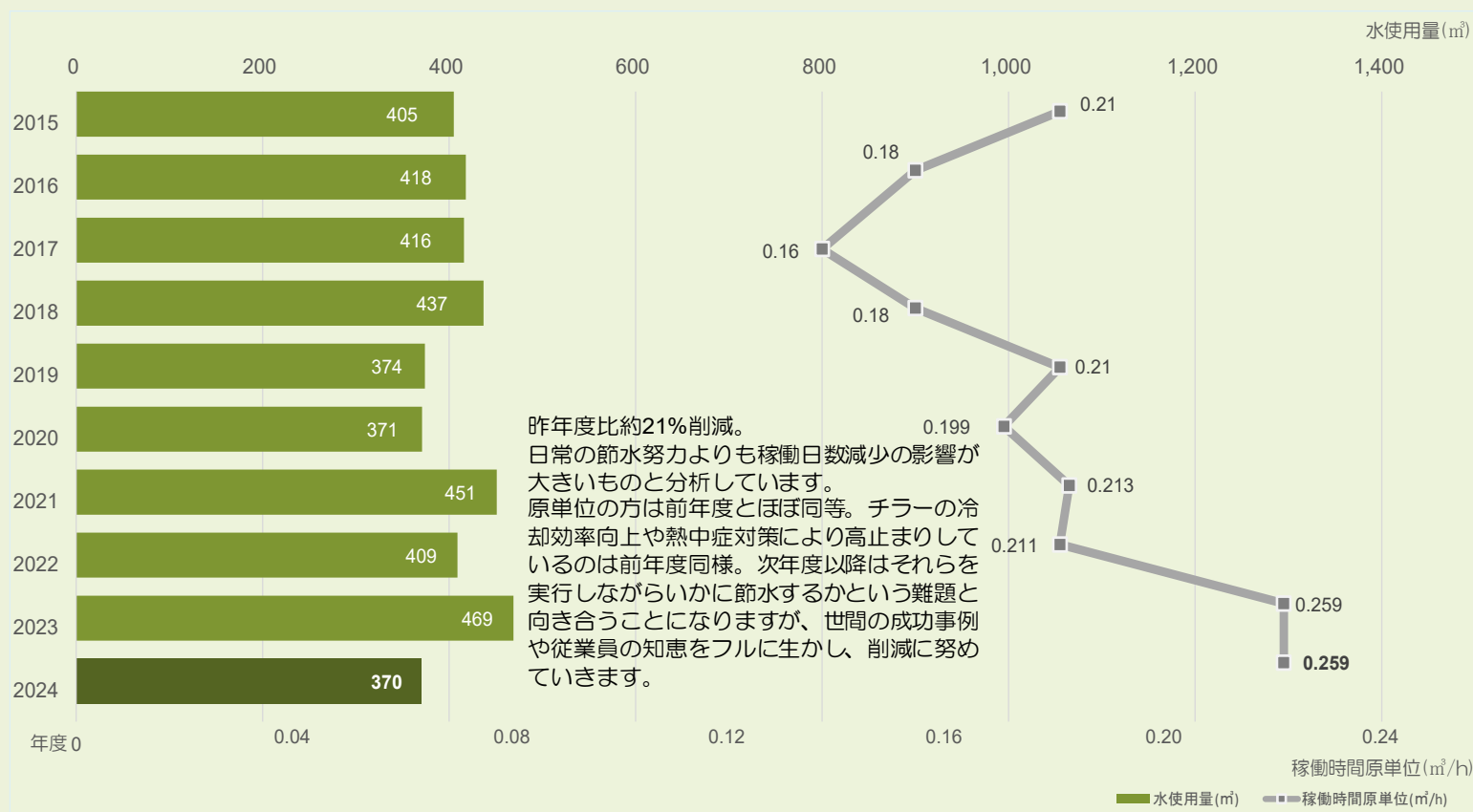
## 水使用量(目標値：月稼働時間原単位(m³/h))



### 中期環境経営目標・2024年度環境経営計画及び実施状況

基準年度	2023	中期環境経営目標				
	年度	2024	2025	2026	2027	2028
基準年度実績	0.259 m³/h	目標値	現状把握	2024年度実績値を踏まえて新たな目標値を策定		
		基準年度比	—			
取組概要(担当者)		SDGs	評価点	寸評・次年度の取組		
使用量記録・月毎の見直し (宮本 哲次)			1点	原単位0.259m³/h。 次年度は上記△1%を目標値とする。		
節水のための啓発教育実施 (宮本 哲次)			10点	計画2回、実施2回(計画通り)。 次年度も年2回の実施を計画。		
雨水有効活用(浄化槽汲取り用に) (宮本 哲次)			10点	工場側浄化槽廃止につき8月以降未実施。 次年度は当該目標は策定しない。		
水道メータの監視・速報値掲示 (宮本 哲次)			10点	計画通り実施。 次年度も継続。		
蛇口点検(問題あれば補修) (宮本 哲次)			10点	計画通り実施。 次年度も継続。		
節水ポスターの更新 (宮本 哲次)			10点	計画通り実施。 次年度も継続。		

水使用量(m³)と稼働時間原単位(m³/h)の推移(但し稼働時間原単位の評価は2015年度より)



### 水使用量削減に関する代表者の評価・指示

会社の稼働日数に応じて使用量も増減する項目ですが、まずは無駄遣いをしないことを各自徹底しましょう。

# 化学物質使用量(目標値：各グラフ上部に記載)



## 中期環境経営目標・2024年度環境経営計画及び実施状況

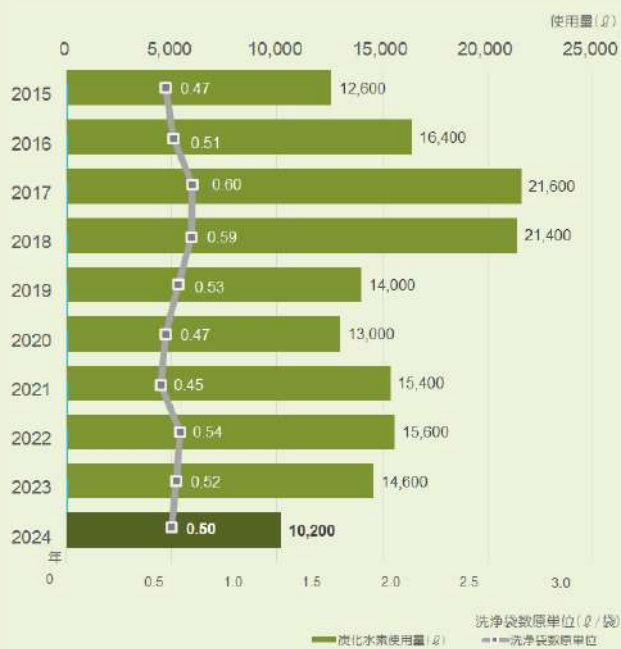
炭化水素	基準年度	2017	中期環境経営目標				
	年度	年度	2024	2025	2026	2027	2028
	基準年度実績	0.603 ℓ/袋	目標値 0.561	0.555	0.549	0.543	0.537
		基準年度比	7%削減	8%削減	9%削減	10%削減	11%削減
取組概要(担当者)		SDGs		評価点	寸評・次年度の取組		
使用量記録・月毎の見直し (来 淳一郎)				10点	目標達成率111.44%(0.500 ℓ/袋)。次年度は基準年△8%を目標とする。		
洗浄機の始業点検及び定期メンテナンス実施 (来 淳一郎、来 博行)				10点	どちらも計画通り実施。次年度も継続。		

潤滑油	基準年度	2010	中期環境経営目標				
	年度	年度	2024	2025	2026	2027	2028
	基準年度実績	0.93 ℓ/調整袋	目標値 0.81	0.80	0.79	0.78	0.77
		基準年度比	13%削減	14%削減	15%削減	16%削減	17%削減
取組概要(担当者)		SDGs		評価点	寸評・次年度の取組		
使用量記録・月毎の見直し (来 尊重)				10点	目標達成率142.11%(0.57 ℓ/袋)。次年度は基準年△14%を目標とする。		
新油の追加抑制策の検討・実施 (来 尊重)				10点	スイッチの入れ方の工夫や戻り効率の改善を実施。次年度も継続。		

### 炭化水素使用量(ℓ)と※原単位の推移

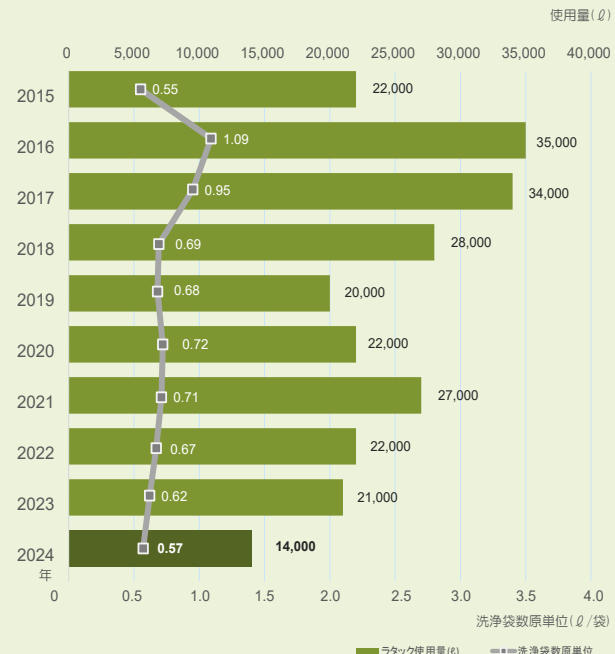
目標値：洗浄袋数(調整なし)原単位(ℓ/袋)



生産量27.7%減に対し使用量30.1%減。原単位も減少しており、使用量の面からも、原単位が表す効率性の面からも、炭化水素に関しては良好な管理ができていものと判断できます。

### 潤滑油使用量(ℓ)と※原単位の推移

目標値：調整洗浄袋数原単位(ℓ/袋)



生産量27.7%減に対し使用量33.3%減。生産量の減少分を上回る減少を実現できており、環境経営計画に掲げる新油の追加抑制策の有効性が確認できます。

原単位算出式：基準年度の洗浄袋数を基に調整した排出量(kg)÷洗浄袋数(袋)  
原単位計算方法については26頁「※1洗浄袋数(調整)原単位とその算出方法」をご覧ください。



## 化学物質(炭化水素、潤滑油)使用量削減に関する代表者の評価・指示

炭化水素や潤滑油の使用効率が良好な要因は、洗浄係や製造現場社員の日々の努力の積み重ねであると思います。引き続き、効率的な使用を心掛けてください。

## 8.PDCAで見る2024年度環境活動

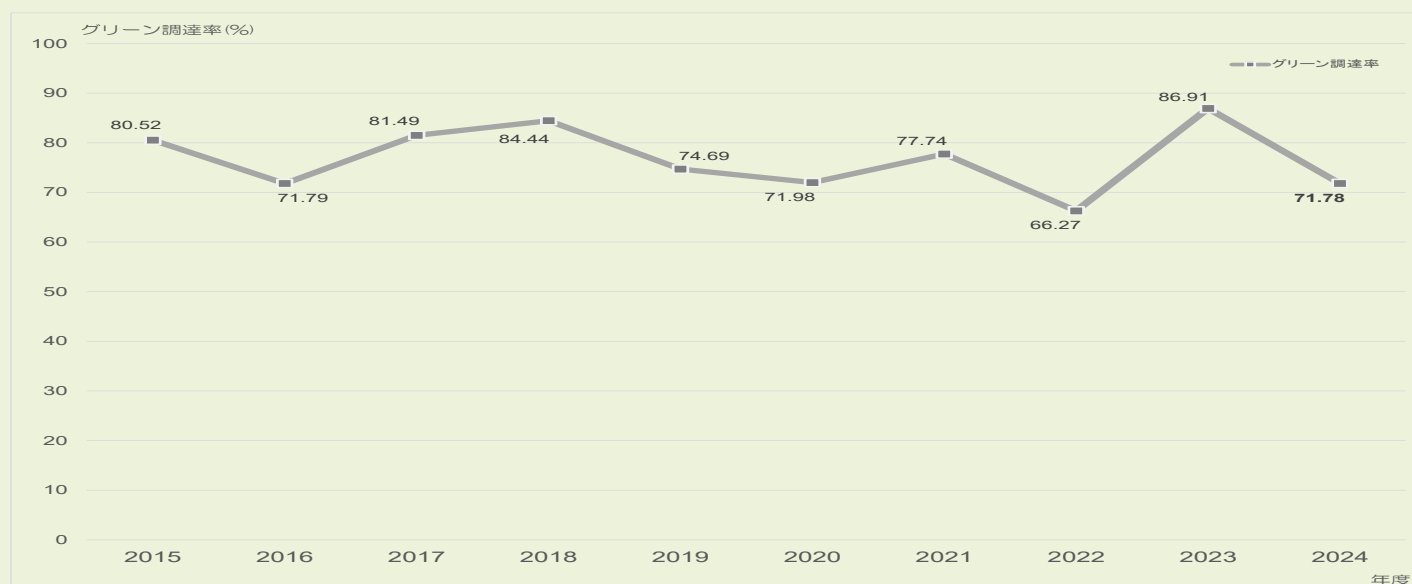
### グリーン調達(目標値:グリーン調達率(%))



#### 中期環境経営目標・2024年度環境経営計画及び実施状況

基準年度	2023年度	中期環境経営目標					
		年度	2024	2025	2026	2027	2028
基準年度	86.91	目標値	87.91	88.91	89.91	90.91	91.91
実績	%	基準年度比	1%向上	2%向上	3%向上	4%向上	5%向上
取組概要(担当者)		SDGs	評価点	寸評・次年度の取組			
グリーン購入率の記録・見直し (福田 則子)			7点	グリーン購入率71.78%。 グリーン調達評価先の品目増加が影響。 次年度目標を据置き、様子を見る。			
物品購入時、カタログにより選別し優先購入 (福田 則子)			10点	計画通り購入の都度実施。 次年度も継続。			

#### グリーン調達率(%)の推移



2023年度にグリーン調達基準を見直し、カートリッジ、替芯等の詰替品をグリーン調達品に含める形で、再度現状把握を実施し、その結果、2023年度のグリーン購入率は86.91%まで向上しました。

2023年度の当該数値を新たな基準として臨んだ2024年度でしたが、結果としては、前年度より15.13%もの大幅後退という結果となりました。

グリーン調達率は、主に文具カタログ通販会社からの購入伝票からグリーン調達品の割合を計算して算出しています。以前は文具のみの利用だったものの、カタログ品目の充実やその利便性から、調達品が直近では多様化しており、現在はPC周辺機器や洗剤などの日用品にまで、購入品目の幅が拡大しています。こうしたことが、グリーン調達率の悪化を招いている原因であると考えます。

次年度においては2023年度に設定した環境経営目標をそのまま継続して様子を見ますが、もし同様の結果となった場合には、現状を再度詳細に分析した上で、目標値の再設定する必要があると考えます。



#### グリーン調達に関する代表者の評価・指示

文具や紙等、一度グリーン調達品に切り替えた品目は、その後もグリーン調達を継続する。その考え方で今後も備品購入を行ってください。

## 来ハトメ環境トピックス2024

## ③ ドキドキ！知事訪問

～「知事のふれあい訪問」体験記～

## 「ふれあい訪問」とは

埼玉県知事の「ふれあい訪問」ってご存じでしょうか？何ともミステリアスな雰囲気だ。この「ふれあい訪問」、埼玉県のホームページでは「地域の実情を把握して県政に的確に反映することを目的に、知事自身が県内各地の様々な現場を訪問するものです。」という文言と共に、過去のふれあい訪問について、写真入りで紹介されているれっきとした県の事業だったりします。

知事自身が県内各地の様々な現場を訪問するということは、ある日突然、知事からの訪問依頼が来ることも、もしかしたらあるのかも知れない……。今回は、幸運にもその「もしかたら」に遭遇した当社の体験談、この場を借りてお話しします。

## 一本の電話から始まった長期戦

それはちょうど1年前の6月中旬、県の出先機関の方から突然社長(当時)宛にかかってきた1本の電話から始まりました。電話を受けた社長は困惑した様子で私に「県知事訪問の候補先にうちが選ばれたようで、2週間後に打合せがあるから、あなたも出席してくれない？」

なんでも、知事が当社の脱炭素、SDGsの取組に興味を持たれての訪問依頼とのこと。「そこは環境管理責任者として一肌脱ごう！」とばかりに社長と同席させて頂きました。

2週間後の打合せでは、当社が選ばれた経緯に始まり、当日(10月30日)までのスケジュール、まだ内々定の段階なので、9月に公式発表があるまでは絶対に口外しないことなどなど、様々な御説明を頂きました。さすがは知事の訪問、打合せの段階から準備の緻密さと情報の取扱いの厳重さは、想像を絶するものがありました。それ以降、何度も説明資料の確認、当日のリハーサルなどなど、綿密な上に綿密を重ねたような事前準備が何度も何度も繰り返されました。

こうして迎えた知事のふれあい訪問当日、会場の設営や知事にご覧頂く動画(脱炭素チャレンジカップ2023のプレゼン動画)の確認などの準備を

整え、この長期戦の集大成、知事をお迎えする時を迎えたのでした。

13時に埼玉県知事が当社に到着。いよいよ「知事のふれあい訪問 in 来ハトメ」濃密な1時間が幕を開けました。



知事の到着を待つ当日の会場

## 知事のふれあい訪問 in 来ハトメ

社長からの当社の概要説明の後、脱炭素チャレンジカップ2023の際に制作した動画を上映。簡単に意見交換を交した後工場内を御見学頂き、知事からお話を頂戴するという流れで進行していったふれあい訪問。事前に事務局の方と打合せした通りの分刻みのスケジュールに沿ってスムーズに進行していきました。



洗浄工程の説明に熱心に耳を傾ける知事

## 知事から頂戴したお言葉

「御社のように環境のために頑張っている企業ももっと良い思いができる埼玉県でなければならないと強く思っている。そのために『埼玉県版タクソノミー』のような仕組みを作り、支援することを考えたい。」

エコアクション21に出会い、環境への取組と向き合うこと15年、ただただ自己満足レベルで追究し続けてきた取組について、知事から直々に「頑張っている」と評価頂いたことは、非常に誇らしく「やってよかった！」と思えたことは、言うまでもありません。また、知事より事業者を支援するための仕組みづくりの構想をお聞きできたことも、我々を勇気づけさせるには十分すぎるものでした。



コバトン授与式

最後に埼玉県のマスコット『コバトン』の授与式と記念撮影を経て「知事のふれあい訪問」は無事終了。表紙の写真はそのときのもの。当社にとっての一生の宝物、また一つ、ふやすことができました。

## 8.PDCAで見る2024年度環境活動

### 弊社を、もっと知ってほしいから～その他の環境活動(ステ)

以下の活動は、今までに御紹介した法規制遵守、緊急事態対応、KPI(重要業績評価指標)設定項目以外の当社の環境活動と関連SDGs及び昨年度の取組状況の評価になります。

#### Plan 計画 Do 実施 Check 確認 2024年度環境経営計画、SDGs及び実施状況の評価

取組概要(担当者)		SDGs	評価点	寸評・次年度の取組
適正管理	化学物質の サプライヤー調査及び不使用 証明書発行依頼 (石原 隆雅)		6点	全5回中毎回実施するも2回納期超過があったため4点減点。 次年度は納期遵守の指導も実施する。
	作業場へのSDS設置 (山崎 洋幸)		10点	使用箇所近辺にファイル管理。 安衛法義務につき当然継続実施。
	化学物質調査実施 (石原 隆雅)		10点	顧客より要請時に都度実施。 次年度も継続(新規採用時にも実施する)。
	リスクアセスメント (山崎 洋幸)		1点	今年度新規採用物質なく実施なし。 次年度新規採用等あれば実施。
	化学物質に関する教育 (加藤 直)		10点	計画2回実施2回(計画通り)。 次年度も年2回の実施を計画。
取組概要(担当者)		SDGs	評価点	寸評・次年度の取組
活動の質の維持・向上	環境への取組の継続的な改善 エコ替え提案についての検討及び導入の決定 (来 満、来 昌伸)		10点	チラー更新を計画(実施は次年度)。 次年度も引き続き、提案を受け付ける。
	資格取得支援 (来 満、来 昌伸)		1点	2024年度当該事案なし。 次年度該当事案あれば実施。
	eco検定講座実施 (来 博行)		10点	計画・実施共に12回(計画通り)。 次年度も年12回を計画。
	セミナー情報の案内 (石原 隆雅)		5点	主に外部向けで社内向けはなし。 次年度も実施。
取組概要(担当者)		SDGs	評価点	寸評・次年度の取組
訓練の実施	環境教育・ 製造部門環境教育 (来 尊重)		10点	計画年4回実施4回(計画通り実施)。 次年度も年4回の実施を計画。
	管理部門環境教育 (佐々木 勝)		10点	計画、実施共に年4回(計画通り)。 次年度も年4回の実施を計画。
取組概要(担当者)		SDGs	評価点	寸評・次年度の取組
5Sの徹底	5S活動実施 (全従業員)		10点	規模を縮小するも毎月実施。 次年度は若干規模を縮小し継続。
	5S実施状況の記録・報告 (山崎 洋幸)		10点	毎月掲示及び朝礼にて啓発を実施。 次年度も実施状況の記録・報告を実施。

## ークホルダーエンゲージメント)～

そのいずれも、お客様、従業員の家族の皆様をはじめ全ての関係者様に当社を知って頂き、弊社のファンになって頂くための活動となりますので「ステークホルダーエンゲージメント」という視点でこれらの活動の実施状況を御紹介します。

取組概要(担当者)		SDGs	評価点	寸評・次年度の取組
生物多様性の保全に関する取組	生物多様性教育の実施 (石原 隆雅)		10点	計画・実施共に5回(計画通り)。次年度年4回の実施を計画。
	森林認証品使用及び切替 (福田 則子)		10点	積極的に森林認証品を使用。次年度も継続実施。
	用水路の定点撮影 (石原 隆雅)		10点	計画年4回、計画通り実施。次年度も継続して記録。
	定点撮影結果の分析 (石原 隆雅)		10点	専用フォーマットに掲示比較可能な状態で記録。次年度も継続して記録。
取組概要(担当者)		SDGs	評価点	寸評・次年度の取組
地域貢献	環境ボランティア参加 (来 昌伸)		10点	全て参加することができた。次年度も継続(新規参加者の勧誘も実施)。
	ボランティア実施報告 (ボランティア参加者)		10点	社内メール活用し計画通り実施。次年度も同様の方法で継続。
	ペットボトルキャップ収集及び寄付 (来 博行)		10点	2024年度10,061個、累計85,370個のペットボトルキャップを収集・寄付。次年度も継続して実施。
取組概要(担当者)		SDGs	評価点	寸評・次年度の取組
SDGs	SDGs個人目標への行動 (全従業員)	※	7.9点	各自実施(評価点は「私のSDGs」平均点)。次年度も継続して実施。
	SDGsに関する情報発信、啓発教育 (石原 隆雅)		10点	「月刊 まいにちSDGs」毎月発行及び外部発信を実施。次年度も継続(社外向けも検討)。
取組概要(担当者)		SDGs	評価点	寸評・次年度の取組
情報開示	環境経営レポート及び活動状況の公開 (石原 隆雅)		10点	ホームページに更新。当然、次年度も継続。
	当社Webサイトの運営及びメンテナンス (石原 隆雅)		10点	Webサイトのメンテナンスは実施するもの、動画サイトはできず。次年度はWebサイトに注力する。
	レポート及び動画サイト更新案内等外部組織との情報交換。 (石原 隆雅)		10点	レポート更新情報をメールにて各所に連絡。配布も行った。次年度も継続して実施。

※SDGsの取組は、個人により異なります(「私のSDGs」(7～12頁)御参照下さい)。

## 8.PDCAで見る2024年度環境活動

### その他の環境活動ピックアップ

#### 1) 丁寧な情報開示と多様な媒体による公開(環境経営レポート)

以下の各媒体にて当社環境経営レポート絶賛公開中です。

### 当社環境経営レポート公開ウェブサイト一覧

#### ■ 当社ホームページ

2010年版～2024年版まで公開中

<https://yashio@rai-hatome.co.jp>

上のメニューバー「品質・環境への取組」→「環境活動(経営)レポートはこちら」のアイコンをクリック。

審査終了後(9月頃予定)に最新版を公開予定。



#### ■ ea21中央事務局ウェブサイト

最新版のみ公開

[www.ea21.jp/](http://www.ea21.jp/)

トップページ→認証・取得された事業者の方へ→環境経営レポートについて(右画面)検索欄「認証・登録番号(0005644)」または「事業者名(来ハトメ工業)」と入力し「上記の内容で探す」をクリック。



#### ■ CSR図書館.net

2015～2024年版まで公開中

[csr-toshokan.net/](http://csr-toshokan.net/)

トップページ下の「報告書検索」(四角囲み部分)に「来ハトメ工業株式会社」と入力し「検索」をクリック



それぞれのサイトには下記QRコードからアクセス可能です。



当社ホームページ



ea21中央事務局ウェブサイト



CSR図書館.net

## 2) 安心をお届けするための誠実な対応(化学物質調査)

当社が身を置く電子部品業界において、環境関連で最も重視されるのが化学物質管理。当社では、社内での管理を含め、新規規制物質が生じた場合には即座に調査・回答を実施。安心のための最重要事項と位置付け誠実な御対応に努めています。

年・月	御依頼内容	結果
2024.5	部材調達ルート及び化学物質含有調査	既知の含有なし
2024.6	新規材料認定に伴う化学物質含有調査	既知の含有なし
2024.7	REACH31次SVHCリスト(2物質)	既知の含有なし
2024.9	RoHS10物質分析データの更新依頼	変更点なし (更新なし)
2025.2	客先不使用方法リスト更新に伴う調査依頼及びREACH32次SVHCリスト(5物質)	全対象物質非含有

2024年度化学物質関連の問合せ・回答状況

## 3) 市内美化のために立ち上がった10名の有志達(環境ボランティア)

八潮市防火安全協会主催で毎月1回開催の環境ボランティア。当社からは10名の有志がローテーションで毎月参加しています。

冬は極寒、夏は酷暑の中、約1時間の市内清掃活動ではありますが、ゴミ拾いを終えた後の爽快感は格別！

市内の美化にちょっとだけ貢献できるだけでなく、ゴミに関する意識も大きく変わる大変有意義な活動。八潮市で仕事をさせて頂いている者の使命として、これからも積極的に取組に協力していきます。



## 4) 11年目にして大台突破目前まで到達！(ペットボトルキャップ収集)

2014年に取組を開始し、2025年2月末までに集まったペットボトルキャップは実に85,370個。ペットボトルキャップ860個でポリオワクチン1本分なので、11年間で約99.2本。惜しくも2024年度中に大台突破とはなりませんでしたが、全員参加の地道な活動がここまで継続できていることは、素直に誇りたいと思います。



当社版「ネイチャーポジティブ」実現に向けた取組

当社が「生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組」を環境経営方針(当時は環境方針)に初めて盛り込んだのは2012年3月のこと。以来今日まで、生物多様性に関する教育を中心に据えつつ、森林認証品の選択購入、敷地に接する用水路の定点観測といった至って地味な取組を続け、今日に至りました。

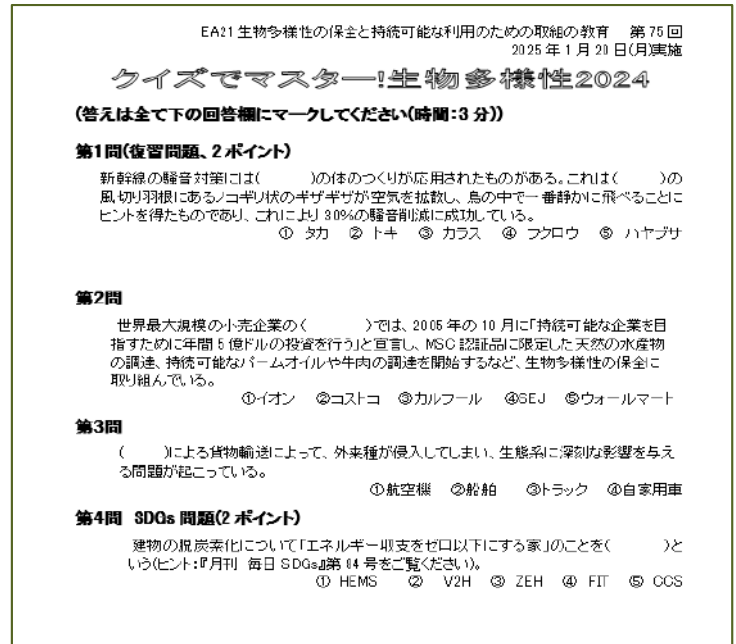
1) Do 依然として取組の中心は何とクイズ(生物多様性教育)

「ネイチャーポジティブ」という言葉の誕生により、生物多様性がより身近(???)なものとなりつつある昨今ではありますが、生物多様性と聞いてもまだ「???’’な部分が多いのが本当のところ、ではないでしょうか。

生物多様性って、実は人間を含めた生き物の営みのあれこれを扱う学問。「生物多様性」を冠して、これらの成功例・失敗例を紹介する本が実は巷にあふれてたりするのです。

これらの中から教材を選び、クイズ形式で出題する。答えた方は、知らず知らずのうちに生物多様性に関する本を1冊読破しただけの知識が身につけている。こんな夢のようなことを形にできないかと思い、2024年度も同じスタイルを貫きました。

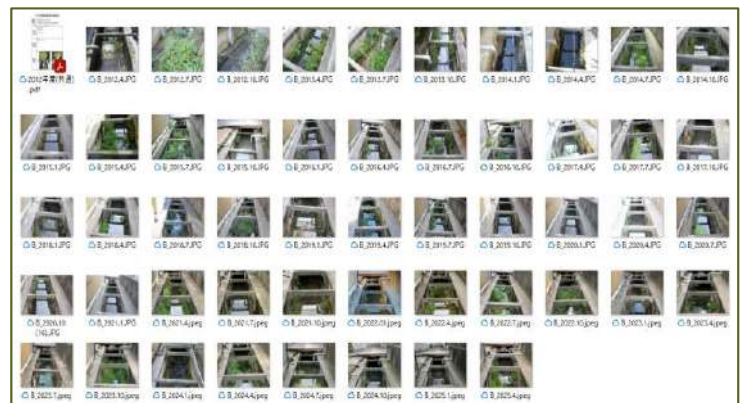
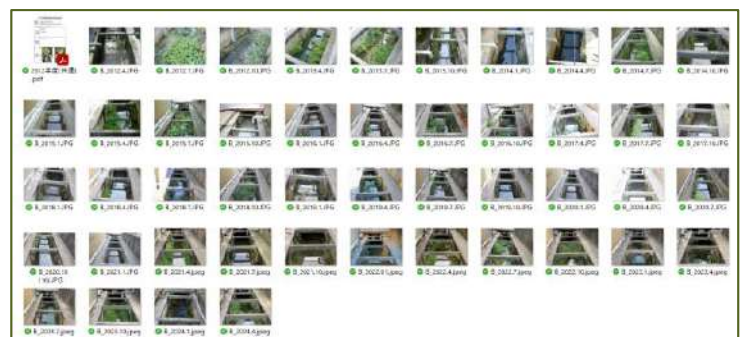
右に示したのは、2025年1月に実際に出題した実物の問題。第4問では「SDGs問題」と称して、「月刊 まいにちSDGs」(次頁参照)に関連した問題を出題していることにも御注目!



2) Do 変化のないことこそが成功の証?(定点撮影)

「場所を決めて定点撮影をし、その変化を観察するとよい」生物多様性を取組に加えるにあたって参照した本にあったこの一文を信じ、以降今日まで続けてきた定点撮影。3か月に一度(1月、4月、7月、10月)会社に接する用水路の決まった地点を6か所撮影するという、きわめて地味な取組。右の写真の上が2024年6月(去年のレポート作成時)、下が2025年同月。4枚だけ増えているのがお分かり頂けるのではないのでしょうか。

因みにこれらの写真を見比べてみると、ほとんど変化がなかったりします。これこそ、当社の環境保全活動が成功している証、だと捉えています。



少しだけ写真が増えていることに注目  
(上:2024年、下2025年)

そんな生物多様性、「ネイチャーポジティブ」という言葉の誕生で、大きく動き出そうとしています。

ここでは「ネイチャーポジティブ」が提唱される前から今日まで続けてきた当社の生物多様性と持続可能な利用に関する取組の数々をご紹介します。

### 3) **SDGsと絡めて最先端情報を提供(『月刊 まいにちSDGs』)**

質の高い環境活動のためには情報収集が不可欠。こうした事務局側の情報収集・情報発信と従業員側の情報収集に一役も二役も買っているのがこの「月刊 まいにちSDGs」。

「あれっ、事務局側、従業員側のどちらにも「情報収集」が入ってる。さてはまたいつもの「やらかし」ですか？」って、残念！やらかしではありません。事務局側も、これを調べて作る段階で、ちゃっかり情報収集集をしているのです。

右に示したのは2024年5月発行分。ここにまとめさせて頂いた「ネイチャーポジティブ」についても、このように分かりやすく(?)解説させて頂きました。

今後は、この形で社外に発信する方法を現在鋭意画策中！是非是非御期待頂ければ、と...

....



**月刊 まいにちSDGs**  
～SDGsを使いこなす企業となるための情報誌～  
2024年5月31日発行(通巻第77号)  
来ハトメ工業株式会社 事務局 SDGs推進委員発行

**環境トレンド(続き)**  
前回「これからのSDGsの使い方」と題し、SDGs単体で取り組むのではなく、SDGsと環境トレンドを絡めた取り組みでアプローチするのが今後の形になっていくのではないかと申し上げた。その中で、主目的環境トレンドとして、「サーキュラーエコノミー」と「ネイチャーポジティブ」を取り上げ、サーキュラーエコノミーの解説のところで、前回は終了している。今回は注目の環境トレンド「ネイチャーポジティブ」について徹底解説する回とした。

**「ネイチャーポジティブ」とは?**  
「ネイチャーポジティブ」、見慣れないこの言葉、いったい何を指すものなのか?答えから申し上げると、実はこれ、だまに実施する小テストでもおなじみの「生物多様性」に関連するもの。「ネイチャーポジティブ」の意味、簡単に申し上げますと「2030年までに生物多様性の損失を食い止め、反転させる」というもの。なかなか分かったよう分らないような抽象的な言葉が並んでいるが、今回の解題も進んでいる生物の数的な減少や絶滅。こうした現象を「生物多様性の損失」という言葉で表していると考えれば、非常に分かりやすい。すなわち、2030年までに生物の数的な現象や絶滅を食い止め、回復軌道に乗せるためにできる全てのことを指すもの、と理解して頂ければまいだろ。

**具体的に何をすればよいのか?**  
ネイチャーポジティブは生物多様性保全のための大変重要な概念。その貢献のために私も貢献したい!けど、具体的に何をすればよいのか.....?この答え、右上に示した図をご覧頂くのと何となく見えてくるのではないだろうか。

**編集後記**  
言葉自体は難解だが、濃く実施されている取組も多数。これらをネイチャーポジティブと結び付けることが、願の具現!

上の図は生物多様性の損失を減らし、回復させる行動の内訳をグラフ化したもの。因みに、2030年を境に右肩下がり(すなわち生物多様性が失われている状態)の状態が右肩上がり状態に変化している。その状態がネイチャーポジティブ(すなわち生物多様性が回復している状態)を表している。

上の図の右端では、非常に丁寧にネイチャーポジティブのために必要な行動が示されている。以下にそれを示す。

- 1 消費と廃棄物の削減
- 2 持続可能な生産
- 3 汚染、生態的外来種、乱獲
- 4 気候変動対策
- 5 生態系の保全と回復

1に示す消費と廃棄物の削減は我々が日常の環境活動やSDGsを通じて既に取り組んでいるもの。「ごみを減らす」、「無駄なものは買わない」、「フー・ロスなくす」、「ごみの分別」、「リサイクル」などがまさにそれ。SDGで言えば12番。

2,4は、製造業で我々が非常に関連が深い概念。持続可能であるためにCO<sub>2</sub>、廃棄物、水の削減、化学物質の適正利用といった取組がその基盤ではある。また、4のためにCO<sub>2</sub>排出量削減に取組んでいることは、周知のとおりである。

## 来ハトメ環境トピック 番外編

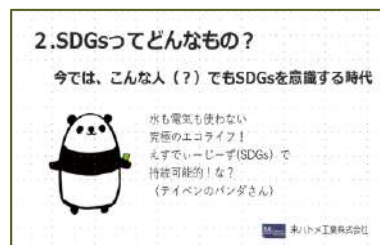
出前授業と講演～環境ファンをふやすための「草の根活動」～

### その1. 小学生編

2024年度は1度、県の「環境学習応援隊」事業として、上尾市の小学校への訪問機会を頂きました。お題は「みんなで取り組もうSDGs」。SDGsの背景から自分の生活に取り入れる方法を、当社で長年培ってきた「私のSDGs」に則って伝授さ

せて頂く45分。

小学生ウケを狙い、Youtubeアニメのキャラクターに登場願いましたがいまいち理解して頂けないというオチも.....。



**2. SDGsってどんなもの?**  
今では、こんな人(?)でもSDGsを意識する時代

水も電気も使わない究極のエコライフ! えすでいーじーず(SDGs)で持続可能な! な? (タイベンのパンダさん)

来ハトメ工業株式会社

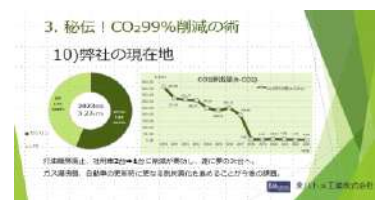
小学生向けスライドより

### その2. 一般(企業・自治体)編

「脱炭素チャレンジカップ2023環境大臣賞グランプリ」受賞のおかげとでも言いましょうか、2024年度は北は山形県から南は和歌山県、更に西は広島県と実に8回もの講演機会を頂き当社脱炭素の取組についてお話させて頂きました。

ドシロウトが手探りで始めた環境活動が脱炭素を目指すまでに至ったある意味「貴重な体験」。環境ファンをふやすための「草の根活

動」の一環として、御依頼があればどこにでも駆け付け、経験したことの全てをお話しできればと思います。



**3. 秘伝! CO<sub>2</sub>=99%削減の術**  
10)弊社の現在地

CO<sub>2</sub>削減率(%)

2022年: 99.9%  
2023年: 99.9%

行動規範第10条: 脱炭素(2050年)に貢献するため、適切なエネルギーを削減し、CO<sub>2</sub>削減率を向上させること。また、省エネ機器、省エネ設備、省エネ設備の導入によるCO<sub>2</sub>削減率の向上を図る。

来ハトメ工業株式会社

一般向けスライドより

# 8.PDCAで見る2024年度環境活動

## SDGsで見る2024年度環境活動総括

### Check 2024年度環境経営計画SDGs評価点採点結果

当社の2024年度の環境活動計画をSDGs化し、各ゴールに該当する活動の数(アイコンベース)を集計した結果は、以下の通りとなりました。

NO.	アイコン	SDGs目標	具体的施策	取組数	※合計数
1		貧困撲滅	募金 ボランティア	1	1 (1)
2		食糧問題解決	食べ残し防止	0	0 (0)
3		健康	禁酒、禁煙、運動 労働安全	6	6 (8)
4		教育	学習	26	26 (30)
5		男女平等	家事分担	2	2 (2)
6		水	水質汚濁防止 節水	7	7 (12)
7		エネルギー	クリーンエネルギーへの転換	9	9 (6)
8		経済成長、労働	雇用 売上目標達成	12	12 (5)
9		インフラ、産業化	生産 不良削減	13	13 (15)
10		不平等是正	賃金改善 外国人差別改善	2	2 (2)
11		都市、居住	住宅購入 防災、SDS	17	17 (17)
12		生産、消費	グリーン調達 廃棄物、CSR	47	47 (33)
13		気候変動対策	温室効果ガス削減	18	18 (17)
14		海洋保全	海洋汚染防止 生態系保護	3	3 (3)
15		陸域保全	生態系保全 砂漠化対策	10	10 (7)
16		平和、司法	戦争撲滅、政治参加 コンプライアンス	10	10 (13)
17		パートナーシップ	企業間協力 諸団体活動への参画	6	6 (2)
<b>2024年度取組SDGs合計数</b>				<b>189</b>	<b>(173)</b>

※合計数の( )内の数字は前年度実績を表します。

計画したもののやむを得ない事情で実施できなかったもの(評価(-)のもの)は合計数に含みません。

## 2024年度のSDGs評価点に基づく振り返りと次年度以降の課題

アイコンベースでの数は昨年度比16個増、評価点は0.1点上昇し9.1点という結果に終わりました。取組を増やしての増加というより、SDGsの解釈の幅を広げた結果のアイコン数の増加であり、評価点につきましては年初に定めた環境経営目標・環境経営計画がしっかり取り組めた結果であると考えます。

次年度についても基本的には2024年度と同様の取組を踏襲することとなりますが、足元は厳しく、あまり思い切ったことができない状況ですので、このようなときこそ、上向いたときに環境に資する設備投資の方向に思考が働くように、徹底的に教育を実施する。とにかく、研鑽の1年にできればと思います。



## 9.代表者レビュー

### Act 見直し 1) 全体的な感想

概ね計画通り達成している項目が多く、社員皆様の日々の努力に感謝します。今後、稼働時間の増加等により、各使用量の増大も考えられますが、これまでのノウハウの蓄積、そして質の高い活動により、目標達成を目指して欲しいと思います。

個別の項目毎の評価と指示内容については、21～46頁を参照下さい。

### Act 見直し 2) 指示

#### ① 環境経営方針

変更の必要性：2025年度は変更なし。

社長就任時に環境経営方針の見直しを行い、前社長の下策定された環境経営方針を継承することが最善と判断しました。従って、2025年度にあっては環境経営方針の見直しは行わないこととします。

しかし、環境の世界は日進月歩、各回の環境教育にて各担当より様々な最新情報の報告が行われています。

これらの中で当社において取り組む必要があるものがあれば、方針を改訂した上で積極的な活動を進めていくことは、従来と一切変わりません。従って、たとえ期の途中であっても方針の改訂と新たな取組への挑戦が始まることがあり得る旨、全従業員肝に銘じておいて頂ければと思います。

#### ② 環境経営目標及び環境経営計画

変更の必要性：あり(詳細は下記の通り)

2024年度の環境経営目標未達項目は事業系一般廃棄物、紙くずリサイクル率、グリーン調達の3項目。事業系一般廃棄物については材料置場整理時に木材を大量に廃棄した影響、紙くずリサイクル率については、事業系一般廃棄物排出量が突発的に増加したことでリサイクル率を計算するための分母が大きくなった影響、グリーン調達については文具通販会社からの購買物品の拡がりが大きく影響しているものと考えます。

これらについては次年度の環境経営目標としては数値を据え置き、状況を改めて観察し、削減(調達)活動に大きな変化が見られなければ、状況の変化として捉え、目標の見直しが必要になるかと思えます。特に、調達品目の幅が増えているグリーン調達については、要注意です。

その他の項目については、使用(排出)量・原単位共に良好な状態です。単なる業績悪化にではなく、使用効率も確実に向上しているものと思われますので、各担当者にあっては自信をもって取組を推進して頂ければと思います。

### CO<sub>2</sub>排出量の削減目標

項目	※削減目標					
	基準年度	2025年度	2026年度	2027年度	2030年度	2035年度
CO <sub>2</sub> 排出量	2013年度	73.0%削減	78.0%削減	83.0%削減	95.0%削減	100%削減

2024年度のCO<sub>2</sub>排出量は2.68t-CO<sub>2</sub>。2023年度から更に0.59t-CO<sub>2</sub>の削減が果たせています。しかし、その削減は業績低迷の影響も大きいように思われます。

業績低迷中にあっては新たな設備投資は難しい状況ですが、それが少しでも上向いたら、かねてより提案を受けているフォークリフト燃料、湯沸し器、金型焼入れバーナー(LPG)と社用車燃料(ガソリン)といった残りの部分の着手に取り掛かります。いざ実行となったときにスムーズな着手に踏み切れるよう、環境管理責任者にあってはそれらの更新の準備を進めておいてください。

### ※(環境管理責任者追記)削減目標の根拠について

CO<sub>2</sub>排出量の基準年度(2013年度)とゴール(2030年度)については、国の地球温暖化対策計画(2021年4月策定)と整合させました。

弊社の2015年度のCO<sub>2</sub>排出量実績値(251,277kg-CO<sub>2</sub>)をスタートラインとし、それを上記の目標年度(2030年)までの15年間で2013年度比95%削減させることを目標としています。

尚、2025年度以降の各年度の目標値は、2015年度の実績値である251,277kg-CO<sub>2</sub>から2030年度までの目標値(163,168.5kg-CO<sub>2</sub>)を減算し、その数値をスタートから目標年までの年数(15年間)で均等割りすることで、各年の年間目標値として設定したものです。

### その他の項目削減目標

項目	基準年度	※削減目標		
		2025年度	2026年度	2027年度
電力	2015年度	原単位△10%	原単位△11%	原単位△12%
LPG	2010年度	原単位△15%	原単位△16%	原単位△17%
ガソリン	2023年度	総量△2%	総量△3%	総量△4%
事業系一般廃棄物	2014年度	総量△9%	総量△10%	総量△11%
産廃(廃ウエス)	2017年度	総量△6%	総量△7%	総量△8%
紙くず(リサイクル率)	2010年度	13%向上	14%向上	15%向上
廃アルミ	2010年度	原単位△15%	原単位△16%	原単位△17%
水	2024年度	原単位△1%	原単位△2%	原単位△3%
炭化水素	2017年度	原単位△8%	原単位△9%	原単位△10%
潤滑油	2010年度	原単位△14%	原単位△15%	原単位△16%
グリーン調達率	2023年度	1%向上	2%向上	3%向上

### ※(環境管理責任者追記)削減目標について

- 削減目標に「原単位」とあるものの原単位については、下記の原単位を目標値とします。
  - 電力、廃アルミ、潤滑油(ラタック) : 洗浄袋数(調整)原単位  
当レポート26頁※1参照。
  - 炭化水素 : 洗浄袋数(調整不要)原単位  
(使用量(ℓ)÷洗浄袋数(袋))
  - LPG、灯油 : 稼働日原単位  
(使用量÷稼働日(日))
  - 水 : 稼働時間原単位  
(使用量(m<sup>3</sup>)÷稼働時間(h))

### ③ 実施体制

変更の必要性：なし(詳細は下記の通り)

2025年度は代表者変更後初年度となります。前社長の下SDGsへの対応や脱炭素化が大きく前進し、その流れを受けての船出となりますが、その勢いをさらに加速させていけるよう、特に資源の部分におけるバックアップを機動的に果たせればと思います。

また、2025年3月に20代の新人を新たに迎えています。学生時代に学んできたことの専門性もさることながら、環境のように進歩が激しい分野においては、新しい世代の発想は非常に貴重となるものと考えます。

従って、環境管理責任者にとっては、新人に対して様々な経験の機会を与えることに努めて下さい。そしてもし可能であれば、事務局業務や教育等、核となる仕事も徐々に任せながら、経験を積ませることに挑戦して頂ければと思います。